

地方史情報 096

2010年4月

「小京都と小江戸」論に向けて

松崎 憲三

日本は古くは中国や韓国の大陸文化を、近代以降は欧米の文化を受容しつつ日本の文化を築いてきた。その意味で元来「うつし」文化の育成に長けていたといえる。国内レベルで見ても、それぞれに北九州や畿内、あるいは上方や鎌倉・江戸の文化を受容しながら独自の地域文化を育んできた。その典型が「小京都」であり「小江戸」にほかならない。いずれも出発点には雅びた文化、華やかな文化への憧憬と、繁栄にあやかりたいという心意が背景にある。(中略)

今日「小京都」と銘打つ市町は四〇以上あるが、「小京都」への志向は古くは為政者の間に存在した。藤原氏による奥州平泉づくり、応仁の乱後京都から下向した公家達による土佐中村づくり、大内氏による山口や徳川氏による江戸の町づくりもその範疇に入る。しかしにわかに増えていったのは、高度経済成長期の旧国鉄によるキャンペーン「ディスカバー・ジャパン」以降といえる。地域側は歴史的風土や文化の観光化、資源化を目論み、訪れる側は日本的なもの、あるいは心の故郷を求めたためである。

一方「小江戸」を名乗る市町の数には「小京都」に比べると少ない。歴史が持つ重みの差が左右しているのかもしれない。いずれにしても、佐原・川越・栃木に限って言えば、幕末から近世初頭にかけて「小江戸」らしさが形づくられたものの、「小江戸」を意図的に売り出したのは近年のことである。ともあれ「小京都」にしても「小江戸」にしても、モデルと緊張関係を持ちつつそれを模倣し、身の丈に見合った形に整えながら独自の文化を育んできた。「小江戸」に関しても、旧佐原市、栃木市を対象として歴史的変遷を辿り、その特徴を把握するとともに「小京都」との遠いを(あるいは類似性を)明らかにしていきたい。加えて、京と江戸の狭間にある静岡県磐田市(旧竜洋町)掛塚、掛川市(旧大須賀町)横須賀を取り上げ、その文化的特徴に分析を加えることにしたい。

(松崎憲三編『小京都と小江戸』、2010.2、小社刊「序論」より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒061-1448北海道恵庭市相生町179-5 ハ
ウスオブ恵庭105 渡辺隆方 Tel0123-34-
2130 / 〒062-0007札幌市豊平区美園七条
1丁目3-1-507 高木崇世芝方 Tel011-821-
2831 年5000円

◇36 2009.7 B5 8p

平成21年度アイヌ語地名研究大会

の日程決まる
母妻富士のアイヌ地名(下) 井口 利夫
アイヌ語地名看板の紹介/図書・
会誌・会報・論文などの紹介

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
Tel011-761-8014

◇45 2009.5 B5 49p 1000円

巻頭言 チェンジという言葉 後藤 良二
北海道開拓をけん引した人

黒田清隆 奥田 静夫
屯田兵村公有財産をめぐって(3)

不動産会社を立ち上げた野付牛
兵村 河野 民雄
士別村騒動記 河野 民雄
福祉事業一筋の古川和多留さん 若林 滋
FM北海道—屯田兵の功績を讃え
る『ほっかいどう宝島』で

放送 解説編
北海道の歴史と屯田兵 宿村 行雄
兵村の今昔

歴史に育まれた環境と文化 後藤 良二

江別屯田の飛鳥山神社 田村 邦雄

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 Tel011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇314 2009.7 B4 4p

21年度通常総会 江別市で初開催

役員20人を選任

総会を終えて

創立50年を契機に法人化を 舟山 廣治
文化講演会から 原始林は「拓か
れて」残された。—先人からの
恩恵に感謝 仙北富志和
九度山(名寄)、黄金山(石狩)を名
勝に指定—総称【ピリカノカ(美
しい・形)】

副会長に就任して 角 幸博
義経蝦夷渡り伝説図絵馬 伊佐治知子

理念とともに生きる「土の館」 菅野 祥孝
別海町指定文化財「加賀家文書」

について 渡邊 昇
各団体の活動(4) 情報紙で身近

な文化財ツアー提案 釣本 峰雄
道外文化財散歩の日程—北前船交

易港酒田・人情味あふれる作風
を残した作家 藤沢周平生誕
地・奥の細道を訪ねる

道内文化財散歩—羊蹄山と向き合
って創り出した歴史と文化 ト部 信臣

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会

〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12

田中貢方 Tel011-667-2137

◇70 2009.6 B5 12p

一本の針

—松浦武四郎の遺したもの 今野 淳子
平成20年度定期総会を開く

「学制」の確立 久々湊昭三
随筆 武四郎の滝さがし 地蔵 慶護

随筆 やまぼや 地蔵 慶護

◆北方民族博物館だより

〒093-0042北海道網走市潮見309-1

Tel0152-45-3888 hoppohm.org

◇73 2009.6 A4 4p

ロビー展「マンモスってどんな動
物？」 角 達之助

ワークショップ「楽しくリメイク
! キミのマンモス ボクのマ

ンモス」 斎藤 玲子
講演会&講習会「刺繍が伝えるア

イヌの心—アイヌ刺繍入門」 笹倉いる美

◆豊泉 弘前大学附属図書館報

〒036-8560青森県弘前市文京町1

Tel0172-39-3162

◇29 2009.5 A4 12p

巻頭言

弘前大学附属図書館の60年 長谷川成一
特集 「津軽領元禄国絵図写」につ

いて 長谷川成一
特集 官立弘前高等学校資料について

官立弘前高等学校資料の管理につ
いて

官立弘前高等学校資料整理作業チーム
近代日本の高等教育制度が明ら

かに!—大変貴重な官立弘前
高等学校資料 中園 裕

官立弘前高等学校資料に秘めら
れていた太宰治 山口 徹

貴重資料保管室が完成 酒井 量基

lead-off 本との出会いを楽しむ(3)

本と人の縁 偶然と必然 有賀 義明
古本市でのめぐりあい 飯 考行

lead-off 図書館に関する話題(3)

電子ジャーナルアンケート結果
について 中田 晶子

医学部分館リニューアルオーブ
ン 須田久美子

弘前大学出版会より新刊紹介

◆岩手の古文書 岩手古文書学

〒020-0805岩手県盛岡市東新庄1-14-4

佐々木和夫方 Tel019-624-1850

1987年創刊

◇22 2008.3 A4 98p 3000円

巻頭言 寸感 佐々木和夫
森嘉兵衛資料集「極楽傳來心體安

樂丸」 川守田ヒロ
啄木の故郷浜民の歴史 森 ノブ

藩境の新田開発と百姓一揆 小野 祐貴
阿部千秋「日記」(3) 千田田鶴子

岩動家に残る古医療本 佐々木淑子
芋田家資料「會津應援」

佐々木隆三/菊池正則
評伝 那珂梧楼(上) 高野豊四郎

書評 田代光子著『浜風のエッセ
イ おんなの汀』 菊池 淳

下北半島研修旅行 川村 賢朗
下北半島むつ市を訪ねて 道又 泰子

学会記事
吉田大肝煎文書(22)(明和元年)

天明九年 日用書留帳(7) 村井茂右衛門
「檜山佐渡」書状(1)

◇23 2009.3 A4 99p 3000円

巻頭言 この頃考えること 森 ノブ
森嘉兵衛資料集「御国益存慮願書」

森 ノブ

是川正甫の『郷村私説』について
 (1) 小川 桂史
 北可継日記(享保四年) 田代 光子
 阿部千秋「日記」(4) 千田田鶴子
 評伝 那珂梧楼(中) 高野豊四郎
 奥羽従軍日誌 高橋 玲子
 西郷隆盛書簡(鮎貝家所蔵) 菊池 淳
 書評 高野豊四郎著『評伝 那珂梧楼』 小原 公子
 陸前高田市方面研修旅行 関 政子
 気仙沼市・登米町方面を訪ねて 菊池 淳
 学会記事
 吉田大肝煎文書(23)(明和二年)
 寛政元年 日用書留帳(8) 村井茂右衛門
 「植山佐渡」書状(2)

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
 〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
 ◇232 2009.7 B5 8p
 万 代 武田 牧雄
 「老女の舞」の伝承
 —有り難きご縁に学ぶ 南洞 頼賢
 「世界遺産」の雑感 合田 武
 「菅鹿鹿踊」の原点 畠山 務
 寛政改革時の世情 細井 計
 故郷へ「帰り新参」 相原 康二
 剣舞で浄土の世界を綴る—大船渡
 で県民俗芸能大会 老人施設の
 門付も好評

◆仙台郷土研究 仙台郷土研究会
 〒980-0804仙台市青葉区大町2-10-14 仙台
 パークサイドビル2階 TEL022-262-5506
 年3000円 sendaikyoudo.blog77.fc2.com
 ◇278 (34-1) 2009.6 A5 64p 1800円
 平泉諸寺院の系譜(2) 名村 榮治
 涌谷の種痘 小笠原康隆

仙台中教院の成立と推移 吉岡 一男
 明治前期の地方教育行政—気仙郡
 盛外四ヶ村戸長役場の史料より 大西恵美子
 私の報告
 消滅した大衡村の奥州街道 高倉 淳
 南山古梁より涌谷公子への手紙
 二通 佐藤 清一
 宮城県北部の猫神社 石黒伸一朗
 明治の曲馬師・石川清馬 佐藤 千尋
 名取市高柳における明治期の米
 麦売買帳と頼母子講帳 丹野 恭夫
 新刊紹介

◆仙臺文化 『仙臺文化』編集室
 〒982-0021仙台市太白区緑ヶ丘1-19-6
 渡邊慎也方 TEL022-249-6530
 ◇9 2009.5 A4 24p 700円
 《特集 仙台市制120周年》
 表紙の物語(9)
 市民とともにあゆむ市役所
 仙臺人追慕(9) 戦災復興で“未来”
 を創った岡崎榮松 服部夕紀／渡邊慎也
 仙台をひろめた刊行物のいろいろ
 わたくしの仙台市制施行120年 伊勢 民夫
 昭和33年 復興途上の街並み
 空から見た仙台中心部 石川 安寿
 仙台市民生活史年表(1989～2009)
 佐藤 雅也
 “仙台の歩んできた道”
 —あの日あるとき
 仙台の工芸(9) 戦没工芸職人の
 残したもの—近藤直行の漆芸 庄子 晃子
 街の賑わい(9) マッチラベルで
 見る昭和初年(9) 仙台近郊の
 温泉旅館
 東京便り(9)
 時の移ろいと共に味わう季節 服部 夕紀

街のともし火(5)
 カメイ記念展示館こけし堂
 仙台のお菓子(9) 名は頼もしく
 姿やさしい 蛸屋製菓の“全勝
 餅”
 付録 明治23年 繪入明細僊臺市
 街全圖

◆仙臺文化往来 『仙臺文化』編集室
 〒982-0021仙台市太白区緑ヶ丘1-19-6
 渡邊慎也方 TEL022-249-6530
 ◇9 2009.8 A4 8p
 “X橋”が生まれかわる
 “地下水流”脈々
 いま仙台でなにが…(7) 渡邊 慎也
 「仙臺文化」談話室から(1) “論
 説の詞”60年後の今どう映る
 川村光弥詞集から
 「仙臺文化」談話室から(2)
 仙台を語る 仙台を考える
 アンケートから
 『仙臺文化』第9号を読んで

◆ナジェージダ(希望)
 石巻若宮丸漂流民の会
 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
 大島幹雄方 TEL045-773-3919
 homepage2.nifty.com/deracine/
 ◇22 2009.7 A4 36p
 民之助追跡 高橋 寿之
 2009年総会
 中村喜和講演会「環海異聞の魅力」
 講演録 今村 享嗣
 その後の皇帝肖像画について 大島 幹雄
 講演会配布資料 レジュメ・関
 連年表
 中村喜和先生石巻訪問記 本間 英一
 津太夫よ君は玄沢から多くの資料

を見せられたか? 佐藤三寿夫
 特集 日本の漂流民研究のいま
 ゴンザファンクラブ 長沼 庄司
 日本開国の捨石となった漂流民
 「音吉」 田中 幸子
 安芸の久蔵について 胡谷 真
 ブラジル・フロリアノポリス研究
 会便り 大原ジニス葉子

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会
 〒011-0901秋田県秋田市寺内兄桜1-5-55
 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
 w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
 ◇67 2009.5 B5 16p
 菅江真澄と和歌
 —和歌のもつ多様性をみる 武田 充邦
 菅江真澄の記録に見る直江兼継 田口 昌樹
 菅江真澄が下北で詠んだ鳥の歌 武沢 和義
 真澄短信
 図書紹介 『菅江真澄図絵と現在
 の風景』／『真澄学』第四号
 菅江真澄研究の先達(1)
 村井良八 田口 昌樹

◆北方風土 北方風土社
 〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野
 乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
 ◇58 2009.7 A5 167p 2000円
 秋田の鉄と日本海交易路 佐々木 稔
 アイヌ文化の確立にふれて 西成 辰雄
 あこや(阿古谷) 佐藤 松雄
 松圃と榊田翁
 故榊田翁記念碑建立の事 高倉 光一
 雪にまつわる民俗語彙(1) 稲 雄次
 石井忠行、嘉永七年「津軽紀行」、
 「津軽表見聞記」—秋田藩の台場
 と大砲術の始まり 新谷 正隆
 「トコドの沼」(安倍貞任とエミシ

と差別と魔物) 松橋 由雄
 倭国の物語(7)
 —大化改新を裏から見れば 寿松木 毅
 多賀城市東北歴史博物館で開催さ
 れた 古代、北方世界に生きた
 人びと—その交易と交流 高橋 暁樹
 再論 一文書—史実の意義を問う
 神宮 滋
 人々に育まれた「謡」 田口 栄徳
 天皇になりそこなった男 深田新一郎
 藩政期の秋田領内有力社寺の社領
 寺領に関する文書(4)—白川・
 吉田神道文書より 神宮 滋

◆季刊東北学

東北芸術工科大学東北文化研究センター
 (発売: 柏書房) 〒990-9530山形県山形市
 上桜田3-4-5 TEL023-627-2168 年10000円
 www.tuad.ac.jp/tobunken/
 ◇20 2009.8 A5 187p 2000円(抄)
 《特集 環境と景観》
 座談会 自然環境との関係をどう
 構築するか—一万年の歴史の中
 で景観を読むこと
 辻誠一郎／横張真／田口洋美
 むらの景観の秩序
 —民俗地理学の視点から 今里 信之
 北上山地の景観と環境
 —山里の暮らしが作った景観 岡 恵介
 レトロ建築と都市景観—歴史的建
 築とそれを取り巻く景観の議論
 志村 直愛
 中世松島の景観
 —学びの折節をふりかえって 入間田宣夫
 近世象潟の景観
 —初期象潟図と景観保全 長谷川成一
 縄文ランドスケープ—ヤマと二至
 二分の関係を中心として 大工原 豊

東北民衆史の水脈(3) 八戸の天
 文家・前原寅吉の精神世界 色川 大吉
 民俗学の眼(5) 稲架小屋と稲干
 し—景物からの民俗週及(1) 野本 寛一
 絵はがきに見る東北日本・アジア
 (5) 浜辺の風景 東北文化センター
 盗まれる水(時評) 田口 洋美
 芸能の道・体験について(書評) 森 繁哉
 衰退の理由とその克服に向けて
 (書評) 菊池 和博
 連載・写真曼荼羅(3) 地獄絵(津
 軽・雲祥寺の十王曼陀羅) 内藤 正敏

◆さあべい さあべい同人会

〒999-3701山形県東根市本丸北1-5-11
 保角里志方 TEL0237-42-3158
 ◇25 2009.5 B5 112p 2000円
 〈巻頭調査研究報告—山形城跡と長谷堂城跡〉
 山形城跡・堀普請にかかわる遺構
 の検討—城絵図と発掘調査成果
 との比較において 五十嵐貴久
 山形市長谷堂城跡の地表面観察
 (縄張り)調査報告 保角 里志
 調査続報
 有屋峠街道を探索 矢野光夫／笹原忠昭
 泉森窯跡と小松原窯跡出土の瓦に
 ついて 水戸部秀樹
 尾花沢の懸仏 石黒伸一郎
 山形市小白川町の石造物集録—西
 光寺の五輪塔・宝篋印塔群から
 加藤 和徳
 一石五輪塔と堂形塔婆・墓塔
 —米沢地域の特異な墓塔 川崎 利夫
 近世後期における地方窯業製品の
 受容層に対する考察—羽州米沢
 藩成島系窯業製品の検討から 高橋 拓

◆聴雪 新庄古文書の会

〒996-0084山形県新庄市大手町2-65
 大場英一方 TEL0233-23-2786
 ◇13 2009.6 B5 96p
 巻頭言 丑(牛)の歩みは遅くとも 高橋 秀弥
 特別寄稿
 義経・弁慶の文書にひかれて 大友 義助
 入門講座の学習
 五人組帳—「未正月 五人組帳
 大久保村 松田権作」
 付 解説「五人組帳」 土屋 道郎
 大蔵村合海 皆川次郎八家(泉
 州屋)文書 武田 清夫
 付 解説「大蔵村合海 皆川次
 郎八家(泉州屋)文書」 大泉 友子
 中級講座の学習
 増補暦略註—庄内加茂長五郎権
 吉當地半兵衛唐へ流船之答書
 付 解説『増補暦略註』「庄内
 加茂長五郎権吉當地半兵衛唐
 へ流
 船之答書」 滝田 勉
 増補暦略註—物草太郎物語り
 付 解説『増補暦略註』「物草
 太郎物語り」 大友 義助
 今川吉幸家文書(一紙文書二点)
 付 解説「乍恐以書付御願奉申
 上候」 新国 吉朗
 付 解説「差上申済口証文之事」
 滝田 勉
 大場善右衛門(角沢村庄屋)のこと
 大場 英一
 史料紹介
 「福島勘定について」 伊藤 幸男
 「七月十六日の夜次第手控帳」
 (旧金沢町村庄屋廣野専太夫

家文書)、「廣野家の書簡」(1)
 (旧萩野村庄屋廣野源藏家文
 書) 武田 清夫
 「頼母子違(講)中面附牒」(大蔵
 村豊牧石川家文書)、「地藏尊
 勸化附帳」(大蔵村藤田沢鈴
 木家文書)、「差上申年賦証文
 之事」(大蔵村旧合海村庄屋
 皆川家文書) 矢口 實
 紙魚の日向ぼっこ 早坂 誠
 教え子の結婚式で 梁瀬 龍夫
 川の内騒動雑感 大泉 友子
 報告 岩手に偉人を訪ねる旅 土屋 道郎

◆まんだら 東北文化友の会会報

東北芸術工科大学東北文化研究センター
 〒990-9530山形市上桜田3-4-5
 TEL023-627-2168 年10000円
 www.tuad.ac.jp/tobunken/
 ◇40 2009.8 B5 64p
 巻頭特集 知の運動、東北学10年
 新たな価値観を提示する
 赤坂憲雄／森繁哉
 地域と歩む。 歴史・民俗・考古
 の研究拠点へ
 入間田宣夫／安斎正人／田口洋美
 東北文化友の会会員からのメッセ
 ージ 千歳栄／横山英子／
 小井口有／芦原敏夫
 公開講座 モノが語る生活世界
 民俗学と考古学のコラボレーシ
 ョン 名久井文明／名久井芳枝／安斎正人
 第20回ブナ林と狩人の会 マタギ
 サミット in 阿仁 参加記 阿部 理沙
 東北ルネサンス・プロジェクト
 in 仙台 小説家・ライター講
 座レポート
 東北発見 めくるめく写真の宇宙

—内藤正敏と学生による写真の饗宴
教育からみる民俗伝承 『やまがた民俗文化伝承誌』を語る
渡部泰山／菊池和博
『内藤正敏＊民俗の発見』全4巻完結に寄せて
内藤 正敏
寄稿 「東北知の鉾脈」取材同行記
佐々木浩明
文学者たちの山形(20)
茂吉文学と愛欲
池上 冬樹
聞き書き・知られざる東北の技(20)
瓜割石切場の後藤初雄さん
野添 憲治
地域誌だより(13)
「汝を愛し、汝を憎む」内なる太宰的なるものを津軽に問う
杉山 陸子
石川啄木から知の鉾脈をたどる
滝沢真喜子
『仙台学』第8号は「開拓」と「食」
千葉 由香
沖永良部での合同研究会
遠藤由美子

◆村山民俗 村山民俗学会
〒990-0821山形市北町3-3-45 市村幸夫方
TEL023-684-5708 年3000円
www.chance.gaiax.com/home/imichiaki
◇23 2009.6 B5 102p
葉山信仰の諸相(2)
山形県外とハヤマ信仰
鈴木 聖雄
平塩熊野権現永蔵坊支配の夜行念仏と獅子舞
野口 一雄
「村の墓」序論
川崎 利夫
おごすんさま—庚申
伊藤 登啓
過疎集落にみる伝承芸能—米沢市「綱木獅子踊り」について
菊地 和博
高嶺夜行念佛の若松観音参詣記
村山 正市

柿の実の想い出—宮本袈裟雄先生の追悼にかえて
関口 健
神仏習合の構造
難波耕司／岩鼻通明
「祖師西来意」の石塔について
—五輪塔・墓石・碑を中心に
加藤 和徳
山形県と世界遺産
岩鼻 通明
會田六郎兵衛家文書を読む
市村 幸夫
◆福島県史料情報 (財)福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54 TEL024-534-9193
www.history-archives.fks.ed.jp
◇24 2009.5 A4 4p
上杉景勝の首都機能移転事業
神 指城跡地籍復元図(明治15・16年の地籍図をもとに作図)
本間 宏
岡左内の名乗りと花押
渡邊 智裕
檜枝岐村絵図について(1)
山内 幹夫
明治時代の国語教科書
小暮 伸之
県庁文書にみる川漁
今野 徹
平井氏オスカー・ワイルド関連資料
小暮 伸之

関 東

◆茨城史林
茨城地方史研究会(発売:筑波書林)
〒310-0844茨城県水戸市住吉町133-14
年2000円
◇33 2009.6 A5 109p 1100円
「畢波頭勢夜麻」と「小泊瀬山」
久信田喜一
天台宗東叡山勧学寮と関東檀林寺
内山 純子
松平頼重と徳川光圀—水戸徳川家
家督相続をめぐる
永井 博
代官・佐々井半十郎について
—調査の経緯とその重要性
あさくらゆう
史料紹介 「蒼龍学校 饗中日誌」
栃木 敏男
報告 地方史研究協議会第59回茨

城大会を開催して
◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会
〒304-0067茨城県下妻市下妻乙349
TEL0296-43-3418
◇34 2009.5 A5 178p(抄)
市制施行55周年を迎えて
小倉 敏雄
口頭詩フェスティバル開催記
中島 晶
市村緑郎氏に下妻市民栄誉賞
小島 亮
海南島文昌市の年画探訪
田所 政江
母校の歴史を訪ねて
田所 成行
秘湯「姥湯」紀行
外山 崇行
古きものへの郷愁
稲葉 本治
父の背中
人見 健一
澹波ノ江(7)
角田 惟也
「徒然草」と食文化について
國府田 晋
下妻街道(下妻道)
福田 信次
メラミンの嘆き
松浦 章二
わが愛する筑波山
寺生すぎ子
フィンランドの教育
緑川 進
昔話は長寿の妙薬
島田 武男
地方祭
千勝 弘巳
瀬戸内の多賀谷氏について
佐久間秀樹
生きることは始めること
褒めることは育てること
青木 明治
将棋悠々(11)
鈴木 和順
映画「猿の惑星」について
国府田 清
天ぷら
鈴木 賢一
我が家の評論家
出浦 智枝
戦没詩人と下妻
寺田 陽子
平成20年度“活動のあと”
各 団 体
川越研視視察
平田 一元
一年のあしあと
寺田 陽子

◆常総の歴史 崙書房出版茨城営業所
〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5
TEL0299-24-0595
◇39 2009.7 A5 117p 1100円

舟塚山古墳(石岡市)の被葬者はだれか
松崎健一郎
『和名抄』にみえる常陸国新治郡の郷について(5)—巨神郷(2)
久信田喜一
〈新たな文化財の評価のあり方をめざして〉
世界遺産登録をめぐる「近世の教育資産」の現状
関口 慶久
学問教育遺産の提唱—「水戸藩の学問・教育遺産群」の回顧と展望
関口 慶久
教育遺産としての史跡足利学校
市橋 一郎
教育遺産としての旧閑谷学校
石井啓／福本浩子
下館藩の明治維新(1)
—明治初頭動乱期の藩内事情
上牧 健二
水戸・水門橋の変遷
小野寺 靖
郷土の本／受像図書の紹介コーナー
—

◆水戸史学 水戸史学会
〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
但野正広方 TEL029-243-6910
◇70 2009.6 A5 197p
徳川宗敬翁の志操
照沼 好文
『大日本史』本紀の構成について
梶山 孝夫
『大日本史』に於ける御歴代天皇の研究—第二代綏靖天皇本紀より
堀井 純二
第九代開化天皇本紀について
堀井 純二
上州の風土と人間
—国定忠治とその外伝
大塚 政義
烈公壁書と鈴木主悦墓碑—吉田松陰・橋本景岳と水戸との絆
但野 正弘
解説 西宮秀著『落葉の日記』
増田 修
謎の「第一手押軽便鉄道隊」
小野寺 靖
義公の足跡を訪ねて(17)
住谷 光一
子供達が作った平成の農人形
住谷 光一
史料繚刻 徳川齊昭卿書翰(4)(慶應義塾大学図書館蔵本)
宮田 正彦

「南溪先生小傳」正誤表 宮田 正彦
英文・会沢伯民伝 照沼 好文

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
◇72 2009.7 A4 4p
《栃木・知の周辺を探索》
栃木・知の周辺を探索
—地域史と教育 松本 一夫
近世後期足利学校の図書館的機能
について 松本 一夫
郷土誌と伝説集の形成
—口頭伝承と文字文化の円環 久野 俊彦
大正～昭和初期における栃木県下
中学校入学をめぐる状況 直井 康幸
郷土教育に果たした考古学の役割
上野 修一
新刊紹介 橋本澄朗・荒川善夫編
『東国の中世遺跡—遺跡と遺物
の様相—』 江田 郁夫

◆ぐんま地域文化 (財)群馬地域文化振興会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
◇32 2009.5 B5 40p
《みなかみ町地域特集》
歴史を掘る 玉村町・小泉長塚1
号墳出土単鳳環頭大刀 右島 和夫
つまづいた石を磨いて玉とする 柴山 卓也
第16回 石川薫記念地域文化賞
発掘情報 大原地区遺跡群—弥生
時代後期の集落跡 田村 司
図録 ぐんまの文化財 みなかみ
町の文化財—国・県指定文化財
建造物 田村 司
ぐんまの歴史入門講座
第100講 みなかみ町の旧石器

—奈良・平安時代 田村 司
第101講 戦国時代の利根・沼
田名胡桃城について 飯塚 満之
第102講
天明・天保の飢饉と間引き 渋谷 浩
第103講 太平洋戦争下の中学
生 学徒動員のことなど 渋谷 浩
第104講 みなかみ町の石造文
化財 石造文化財の見方(21)
秋池 武
古文書解読入門講座(19)—古文書
から歴史を読む 武田氏定書と
布施新田町立ての事 見城 孝司
座談会 ぐんまの戦後史を語る
群馬県の開拓・開墾事業 (3)
開拓地の整備と入植
木暮喜義／落合勇次／戸神重美
／小野勝康／本多今朝次郎／大
関恭一／中澤哲夫／山本世紀
地域づくりと文化遺産(1) みな
かみ町の猪土手(堀)について 飯塚 満之
地域づくりと文化遺産(2) 羽場
日枝神社の文化財—下座を中心
に 原澤 潤治
ぐんまのくらしと民俗 みなかみ
の民俗「藤原の獅子舞」 林 好一
ぐんまの人物誌 木曾仙太郎—村
造りに尽くした初代新治村村長
見城 孝司
ぐんまの郷土芸能 古馬牧(コメ
マキ)の人形浄瑠璃(略称 下牧
人形) 山田 忠夫
ぐんまの地名
谷川岳をめぐる地名 利根川太郎
研究・学習サークル活動紹介
にいはるこども文化塾 持谷 靖子
出版情報 新治村誌発刊案内 見城 孝司
ぐんまの自然と風土

ウツクシマツとムレスギ 阿部 利夫

◆群馬地名だより 群馬地名研究会
〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8
小池照一方 TEL027-251-7660
◇71 2009.7 B5 8p
群馬の古地名(アイヌ語系)探索
群馬の「オトモ」地名を歩く 角田賀津三
片品の十二(2)
十二山神社・十二様について 大竹 将彦

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立
文書館内 TEL027-221-2346 年4000円
members.jcom.home.ne.jp/yctanaka/
◇299 2009.7 A5 88p
随 想
回想 鎌原遺跡発掘とその後 黒岩 文夫
『群馬県農業史』の執筆を終えて
宮崎 俊弥
五十五の団子考
—厄年と長寿儀礼の民俗 板橋 春夫
高崎市におけるナンバースクール
の誕生と消滅過程 串田 哲夫
近世墓石に関する一考察—慈順石
における調査を中心に 金子 智一
群馬県立歴史博物館開館30周年記
念展「国宝 武人ハニワ、群馬
へ帰る!—これが最後、東と西
の埴輪大集合—」の開催につい
て 三浦茂三郎
平成21年度群馬県地域文化研究協
議会総会並びに第25回地域研究
会(於・甘楽町)の開催
秋山正典／青木裕美
安中市横野台地における古墳時代
中期集落の発掘調査—加賀塚遺
跡・人見枝谷津・東向原遺跡の

調査概要 井上慎也／石丸敦史
博物館・美術館めぐり 広大な里
山の中で自然や昆虫とふれあう
—群馬県立ぐんま昆虫の森
新刊紹介
板橋春夫著『出産 産育習俗の
歴史と伝承「男性産婆」』 丸谷 仁美
岩根承成編著『戦争と群馬—古
代～近代の戦場と民衆—』 石原 征明
松田猛著『上野三碑—古代を語
る東国の石碑—』 関口 功一

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円
◇210 2009.7 A5 64p
《特集 渋川市(旧渋川市、旧北群馬郡伊香保
町・小野上村・子持村、旧勢多郡赤城村・
北橋村)》
渋川市全図／群馬県渋川市 渋川市観光課
渋川宿と真光寺周辺の文化財散歩
／五榜の揭示 大島 史郎
「天地人」赤見綱泰・昌泰父子 赤見 初夫
日帰り温泉ぶらり旅(11) 北橋温
泉「ばんどうの湯」の巻 田口 正美
絵手紙で歩く 上毛かるた(33) 小林 生子
高山彦九郎日記による歴史散歩
(18)『乙未の春旅』(7) 正田 喜久
義重山光大院新田寺建立の徳川家
康 細谷 清吉
郷土民俗の歴史を後世へ
力石の由来 小池 利夫

◆郷土はとがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509
◇63 2009.5 A5 110p 1000円
巻頭言 新たな視点による顕彰と

再評価を
追 悼
小川博先生のご逝去を悼んで 岡田 博
諸書に鳩ヶ谷を見る(14) 鳩ヶ谷
の旅籠屋と火盗改・長谷川平藏
加藤 信明
市文化財だより(14) 発掘でわか
った鳩ヶ谷の歴史(9) 文献で
語る中世の鳩ヶ谷—遺跡調査成
果から中世を語るために 浅野 信英
鳩ヶ谷史譚(7)
昼間吉太郎町政に物申す 平野 整
自分史で語る鳩ヶ谷現代史
連れてけ地蔵のこと 日吉 一夫
神輿、パトカーを乗り越える 高瀬 博
大宮～東京線(第二産業道路)の
立体交差の実現 鈴木 勉
『大日本帝國剣道形』 花岡 武司
鳩ヶ谷に映画館があった頃 藤波不二雄
高野山千蔵院供養帳(9)
六町村の供養帳書写を終えて 小淵 甚蔵
玉龍山保正寺(法性寺)二世震龍景
春禅師と震龍派(2) 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(10) 嫌われもの
「カワウ」とその仲間 藤波不二雄
芸道の秘奥を極む「守・破・離」 乗橋 猛
国宝阿修羅像を体感 平野 整
新刊紹介 『川口鑄物師鈴木文吾
評伝集成』 他 加藤 信明
小谷三志をめぐる人々(60)
小谷三志研究史上の人々(3) 岡田 博
歴史資料
住民登録法施行をめぐって
◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方
TEL049-281-4983 年4000円
◇298 (56-2) 2009.7 A5 54p

河越城代大道寺氏の研究
—史料編年でみるその実像 大圖 口承
寺門静軒覚書(3) 佐藤 繁
武州秩父雑話(5)—藤田家五代(3)
大墅 鴻風
資料紹介
井上喜文編『類題新英集』 内野 勝裕
新刊紹介 『毛呂山町の石佛』—町
内に残る石仏を見て歩こう 小
室健二編著
歴史関連ニュース
櫻井徳太郎賞論文・作文募集
第601回 公開講演会
第602回 熊谷市見学
第603回 所沢市見学
第604回 総会・記念講演・懇親会
◆日本の石仏
日本石仏協会(発売:青娥書房)
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512 年8000円
www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
◇130 2009.6 A5 80p 2100円
巻頭随想
緑陰雑感—仏像ブームに思う 坂口 和子
《特集 石仏探訪Ⅳ》
昭和庚申年塔を追って 石川 博司
利根川流域の百堂念仏塔を追って
石田 年子
(梵字)ア・パン・ウンを主尊とす
る庚申塔 梶川 賢二
震災後地元住民の手により再建さ
れた伝説の供養塔 荒井 昭
ぶらり石仏紀行 たなかよしゆき
戦国期の三十三観音信仰か 筒井 隆義
中部山地に点在する一石三十三観
音塔 井戸 寛
「石」を知る(20) 小松 光衛

石燈籠入門(40) 嘉津山 清
石仏写真と私(20) 杉本 康希
あ・ら・か・る・と—私の石仏案内
中森勝之／遠藤康子
会員の広場 町田茂／加藤和徳／早川
孝正／中上敬一／関口渉
第80回石仏見学会報告 東京都八
王子市高尾周辺の石仏 西岡 宣夫
一泊石仏見学会案内 旧日光市街
地の庚申塔とその他の石造物
三代川千恵子／野口進
「石仏写真展2009」報告 杉本 真希
◆ぶい&ぶい 無為無為 日本史史料研究会
〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860 武蔵
野学院大学国際コミュニケーション学部
神野潔研究室 TEL04-2954-6131
www17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇8 2009.6 A5 26p
羅漢寺考—勧進と聖の狭間で 西海 賢二
コラム 家督 細川 重男
「N」という企画 生駒 哲郎
◆富士山遺文拾遺 まるはとだより発行所
〒334-0013埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5
岡田博方 TEL048-281-4118
◇39 2009.6 B5 8p
古今東西宝語(39) 対応と適応
大島有隣先生御説経開扉(36)
『天保八年問答』(3) 岡田 博
有縁機縁録 新刊紹介 現代の名
工『卓越した技能者の歩み—田
口貞一の米寿を記念して』、松
本丕一著『セピア色の季節』
◇40 2009.7 B5 8p
古今東西宝語(40)
山高きが故に貴からず
大島有隣先生御説経開扉(37)

『天保八年問答』(4) 岡田 博
有縁機縁録 新刊紹介 『郷土は
とがや』第63号、『富士山文化
研究』第9・10号合併号
◇41 2009.8 B5 8p
古今東西宝語(41) 『童子教』から
大島有隣先生御説経開扉(38)
『心学道歌集』(1) 岡田 博
有縁機縁録 田口貞一様ご逝去／
新刊紹介 水野昌雄著『続・戦
後短歌史抄』—作品と時代
◆富士山文化研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円
◇27 2009.5 B5 8p
平成21年度総会日程／めぐろ・れ
きし講座／本一講先達 鴨志田
興右衛門百回忌
富士・大山信仰 西海賢二著／富
士山と日本人の心性 天野紀代
子＋澤登寛聡編／宮崎県の木花
佐久耶姫伝承
文献紹介 富士山御師の歴史的研
究 高埜利彦監修 甲州史料調
査会編
富士吉田市立博物館刊行物／平成
21年度 胎内祭／永井家文書、
茨城大学へ
◆郷土史研通信 八千代市郷土歴史研究会
〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10
牧野方 TEL047-484-9728 年3000円
◇67 2009.8 A4 6p
報告 ときめきの二日間 研修旅
行「直江兼続と良寛」に参加し
て 三橋 俊一
報告 5月例会(学習会)／臨時の

緊急役員会／7月例会／東照寺
で寺宝を拝観／臨時の緊急役員
会
吉橋大師巡拝に参加 佐久間弘文
東京成徳大学特別講義「地域研究
から見える八千代の歴史Ⅱ お
もしろ石造物講座—狛犬と子安
塔」
大和田新田小柴家の墓が修復さ
れました 畠山 隆
平野仁蔵さんを偲んで
短 歌 牧野 光男
平野仁蔵氏の思い出 関和 時男
平野さんに感謝 石井 尚子
平野さんの天晴れな往生に拍手
恵志 あや
上山ひろしさんを偲んで
上山さんの訃報に接して 池田 弘之
文学・歴史・民俗を生涯楽しん
だ上山ひろしさん 村田 一男

◆千葉史学 千葉歴史学会
〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉
大学文学部内 TEL043-251-1111 年4000円
hist-q.f.chiba-u.ac.jp/users/chibareki/
◇54 2009.5 A5 200p
《房総に生きた人びとと歴史》
刊行にあたって 佐藤 博信
古 代
時代概説 宮原 武夫
洞穴に暮らした縄文人 四柳 隆
横穴に葬られた人々 萩原 恭一
伊甚直稚子 長谷川 暁
阿房之刀自部 吉井 哲
他田日奉部直神護 河名 勉
平将門 服部 一隆
平忠常 川尻 秋生
コラム 日下部使主三中 石渡 芳樹

コラム 周淮の珠名 石和田秀幸
中 世
時代概説 外山 信司
千葉常胤 外山 信司
大欄宜宣長 鈴木 哲雄
小弓公方足利義明 佐藤 博信
日 我 佐藤 博信
里見忠義 岡田 晃司
養珠院お萬の方 大石 泰史
コラム 里見家の女性たち 金子 恭子

近 世
時代概説 川名 登
本田忠勝 尾崎 晃
佐倉惣五郎 鎗木 行廣
菱川師宣 能勢 智
青木昆陽 笹川 裕
稲葉黙斎 若杉 温
伊能忠敬 小島 一仁
田中玄蕃 相京 眞澄
小倉伝兵衛 筑紫 敏夫
依田学海 土佐 博文
コラム 俳諧と房総の女性 斎藤 功
コラム 寺子屋の子どもたち 石山 秀和

近現代
時代概説 矢嶋 毅之
桜井静 佐久間耕治
浜野昇 中澤 恵子
伊藤左千夫 加藤 時男
鈴木貫太郎 中村 政弘
森轟昶 高林 直樹
山下りん 下西 陽子
座間止水 矢嶋 毅之
渡部英三郎 池田 順

◆房 総 川城文庫・藩政史研究会
〒299-4311千葉県長生郡一宮町白山8-7
TEL0475-42-3034
◇125 2009.6 B5 8p

郷土の先学医学者兼住職 極楽道
中記に見られる田丸健良翁—龍
畦逸人長谷川光(俗人無著庵見
性)との出会い 川城 昭一
◇126 2009.7 B5 12p
坂東の札所めぐり
三十二番音羽山千光院清水寺 川城 昭一

◆房総の郷土史
千葉県郷土史研究連絡協議会
〒260-0855千葉市中央区市場町11-1
千葉県立中央図書館内 TEL043-222-0116
年4500円
◇37 2009.5 A5 88p
会長挨拶 樋口誠太郎
近況寸言
五感を通して学ぶ史跡めぐり 木下 操
田中玄蕃の事蹟を尋ねて 岡田勝太郎
総会の記 第36回郷土研究会総会
事 務 局
史跡探訪
伝説とロマンのまち木更津 福原 貞夫
郷土史フォーラム 第2回「郷土
史フォーラム」開催 秋葉 輝夫
記念講演
「佐倉」城下町から軍都へ—そ
して今は文化のまちへ 松井 安俊
われ生涯—教師 竹下 定蔵
研究発表要旨
千葉次郎泰胤—越前大野島田城
考 千葉 文隆
南房総市の民話について 生駒 謹爾
幕末・明治初期における私塾経
営—吉井塾の財政確保
(1)醤油醸造 石出 聡史
近世における歴史的展開とその後
の「歴史的後遺症」の把握(2)
—近世房総史の内容を主軸とし

て 川村 優
早川金太郎、ツルに下付された旅
券の内容について 大場 俊雄
正木幽谷居士と漢詩 三浦 茂一
名字と地名の歴史的考察 秋葉 輝夫
興石賞生みの親 興石博氏の訃報
川村 優
郷土研文化講座・古文書講座 事 務 局

◆あしなか 山村民俗の会
〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
サトービル TEL03-5663-6748 年5000円
www8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇286 2009.8 B5 20p
山の昔話再考—高橋さくえさん・
藤山キミ子さんの語り 野村 敬子
神絵馬版木の謎—岩手県遠野から
新潟県小出へ 山田 哲郎
宮崎茂夫遺稿
木を伐る話／私のよしず作り 宮崎 茂夫
宮崎茂夫氏を偲ぶ
さようなら、宮崎さん 秋澤 英雄
山の神まつり 浅野 明
「三田」と「銀座」の会合 小泉 共司
江戸前の葎簀職人を偲ぶ 小海 敏雄
南会津と宮崎さん 小滝清次郎
宮崎流・落の佃煮と『あしなか』
杉崎万寿雄
宮崎茂夫氏と山村民族の会 瀧澤 禮子
宮崎さん、ありがとうございます
した 野村 敬子
宮崎さんの思い出 鳳氣至一広
宮崎茂夫さん追悼 山田 哲郎
山里だより(14) 明野の陰陽石 井上 明生

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1861

◇77・78 (35-2・3) 2009.1 A5 241p 2100円
《特集 近世差別論—身分・境界・思想》
特集にあたって 友常 勉
近世身分制の一考察 関口 博巨
同時代人の描いた夙像 吉田栄治郎
民衆宗教運動の再発見
—被差別部落史との接続から 渡辺 順一
禁忌と浄穢—近世後期の国学者の
議論を中心に 友常 勉
資料 「年々随筆 一 辛酉上」
(石原正明著)／「猷穴鹽湯考
附穢多」(伴信友著)
元校長が「龍郷町教育講演会で
行った授業実践講演」の経過と課
題 石川 享助
古文書を楽しむ(1) 古文書を読む会
「女」について語られてきたこと
(4)『ロビンソン・クルーソー』
を学び、職業を選択する 井桁 碧
本の紹介 熊谷達也著『箕作り弥
平 商伝記』 市川 正廣
◇79 (35-4) 2009.2 A5 112p 1050円
《特集 裁判員制度をめぐって》
特集にあたって
第23回研究者集会・パネルディス
カッション「裁判員制度をめぐ
って」 鯨越溢弘／横田雄一／吉田健介
裁判員制度は被告の人権を守る
か—パネルディスカッション
「裁判員制度をめぐって」を受
けて 吉田 健介
裁判員制度と狭山裁判
—狭山分科会の討論から 鈴木 慰
陪審劇「模擬陪審・狭山事件」の
紹介 雛元 昌弘
千葉県部落問題と解放運動の現
況について 鎌田 行平
進路保障の現状と課題 金 玉熙

資料 進路保障の現状と課題
古文書を楽しむ(2) 古文書を読む会
◇80 (35-5) 2009.3 A5 132p 1050円
《特集 先住民族の現在—今をどう語るか》
「先住民族の現在」が問いかける
もの—特集「先住民族の現在—
今をどう語るか」にあたって 吉田 勉
インタビュー アイヌ民族として
生まれて—多原香里さん 友常 勉
インタビュー アイヌ民族がきち
っとした歩みをはじめられるか
どうか—長谷川修さんに聞く 千本 秀樹
資源開発への異議申し立てと先住
民族の自己決定権 藤岡美恵子
インタビュー フィリピンの先住
民族との関わりを通して—和田
献一さんに聞く「信頼しなない
—圧倒的な失敗、しかし性懲り
もなく」 井桁 碧
スペイン・バスクの被差別民アゴ
テと彫刻家サビエル・サンチョ
テナ 友常 勉

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇496 2009.6 A4 4p
特集 下山事件から60年
—ガリ版刷り資料と雑誌 郷土資料室
都市近郊の農産物を追う(19)
水セリ(2) 萩原ちとせ
◇497 2009.7 A4 4p
成長する展示—復元都営住宅 郷土博物館
代官 佐々井半十郎について(3)
長州征伐 あさくらゆう
リニューアル記念展「—千住関屋
の文人—建部渠兆」を終えて 真田 尊光

都市近郊の農産物を追う(20)
水セリ(3) 萩原ちとせ
◇498 2009.8 A4 4p
足立区周辺の盆習俗
—ガラガラと高野の施餓鬼 編集部
肥溜めの展示によせて(2)
都市近郊の農産物を追う(21)
水セリ(4) 萩原ちとせ
好評でした！ ミニ七夕飾りづく
りと夜の浮世絵鑑賞会／語られ
続ける下山事件

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇255 2009.6 A4 4p
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(91) 新教育指針 第五
章民主主義の徹底 堀川 和夫
鵬外スポット 森林太郎の医学大
業績 臨時脚気病気調査会の創
設とその成果(2) 山下 政三
5月リニューアルの郷土博物館見学
新博物館を見て 矢作登美子
戦後にタイムスリップ 原田 和子
5月探訪「亀有から郷土博物館へ」
報告
◇256 2009.7 A4 4p
鵬外忌墓前祭に参列し鵬外を偲び
千住の歴史を考える
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(91) 新教育指針 第五
章民主主義の徹底 堀川 和夫
鵬外スポット 森林太郎の医学大
業績 臨時脚気病気調査会の創
設とその成果(3) 山下 政三
炎天寺本堂落慶法要参列記(上) 竹内 秀夫
6月古河宿探訪報告

◇257 2009.8 A4 4p
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(92) 新教育指針 第五
章民主主義の徹底 堀川 和夫
炎天寺本堂落慶法要参列記(下) 竹内 秀夫
文化財の整備 堀川 和夫
夏季区民教養講座報告

◆あるむぜお

府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32 TEL042-
368-7921 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇88 2009.6 A4 8p
シリーズ世界天文年(1)
ガリレオ・ガリレイ 本間 隆幸
展示会案内 企画展 日食写真展
—太陽が魅せる神秘の光／府中
市制施行周年記念 高砂淳二写
真展 AQUA PLANET—よう
こそ青い惑星へ
最近の発掘調査 新たな古墳の発
見—御嶽塚古墳群 西野 善勝
NOTE 宮本常一「馬喰爺さんと
の出会い」原稿 坂本長利一人
芝居「土佐源氏」に寄せた思い
佐藤 智敬
坂本長利「土佐源氏」資料の世界
(1) 価値ある資料群 博物館
へ 佐藤 智敬
「府中市郷土の森博物館ブックレ
ット」10～12 一挙に3冊刊
行！
小説 探鳥物語(1)
白と黒の彩演 中村 武史

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682

◇253 2009.7 A5 45p
 特集 太平洋戦争と私
 太平洋戦争と私 渡部 環
 寄稿 板橋区の国際交流にかかわ
 って—世界平和をめざす板橋区
 国際交流のあゆみ 石塚 輝雄
 写真ニュース(13)「茂呂遺跡と根
 ノ上遺跡の現状から」 井上 富夫
 史跡を訪ねて(11) 楽宮 猪瀬 尚志
 『我衣』を歩く(2の2)
 「戸田の渡し」渡船場 木田 誼

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
 〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
 加藤恒彦方

◇368 2009.7 B5 37p
 今年は還暦の年 浦野 要
 「消えた高篠山」にその訳を問う
 —高篠・高篠山・高篠峠考(3) 飯塚 孝雄
 武蔵七党(続) 染谷 鷹治
 奥武蔵、秩父の獅子舞(30)
 —浦山、大日堂の舞 関口 洋介
 続『遊歴雑記』を歩く(子ノ山全
 図) 酒井 昌樹
 武甲山山開き 車に乗って山頂へ
 木本 和男
 三遷した「簗山」二等三角点 町田 尚夫
 蓬 餅 佐藤 八郎
 山行報告

◆季刊 Collegio 之潮
 〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
 TEL042-328-1503 www.collegio.jp

◇37 2009.7 B6 48p
 『江戸・東京地形学散歩』の読者
 のために(1) 海面変動と地形
 の変化 松田 磐余
 姫坂下 井出のり子

フランス古地図音楽散歩(19)
 ド・ギーズ館 関根 敏子
 東京文学地図帖 戦後編(20)
 檜原村 植田 満文
 歴史地図の窓 官撰絵図を基図に
 して板行された『九州九ヶ国之
 絵図』 川村 博忠
 中西悟堂を歩く(18) 雲取山 西村 眞一
 東京電車線路物語(16)
 直通乗入れ昔話 井口 悦男
 大陸彷徨(3) ロマノフカ行(3) 島田 英常
 17世紀シベリアの地図化過程(4) 佐々木路子
 コラム地図のなかの水辺(23)
 久我山

◆北区史を考える会会報
 〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
 大澤栄美方 TEL03-3907-0040
 ◇93 2009.8 B5 10p
 北区の「銀座」商店街—赤文セン
 ター祭展示に向けて 榎本 龍治
 第318回月例研究会 東京第一陸
 軍造兵廠技能者養成所座談会 高木 文夫
 第319回月例研究会 「逆」から見
 た地域性(『高野山龍泉院過去
 帳』こはれ話) 倉木 常夫
 第321回月例研究会
 醍醐邸移築ビデオ上映会 榎本 龍治
 第320回月例研究会 女性眼科医
 一号 右田朝子の顕彰碑につい
 て 岡戸昇太郎

◆交通史研究 交通史研究会
 〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1
 国士舘大学文学部 岡島研究室
 TEL03-5481-3245 www.soc.nii.ac.jp/jstc/
 ◇69 2009.8 A5 81p
 江戸城御用炭の上納と輸送—武州

秩父郡大野村の史料を中心とし
 て 丹治 健蔵
 近世渡船場の構造と機能—富士川
 渡船場附河岸を事例として 加藤 僚
 書評 深井甚三著『近世日本海海
 運史の研究—北前船と抜荷』 印牧 信明
 例会報告要旨／新刊紹介／展覧会
 情報／第35回大会・2009年度総
 会報告

◆下町文化
 江東区教育委員会生涯学習部生涯学習課
 〒135-8383東京都江東区東陽4-11-28
 TEL03-3647-9111 www.city.koto.eg.jp

◇246 2009.7 A4 8p
 好評発売中!『江東区の文化財』
 シリーズ4冊に—見どころ・読
 みどころを紹介
 あるく・みる・きく・かく「深
 川宿」の名が刻まれた奉納物 向山 伸子
 区指定文化財 石造燈明台移設の
 記録 三嶽 俊司
 中川船番所資料館企画展示「旧中
 川から見た亀戸」 鈴木 将典
 20年度委託調査・区外史料調査報
 告 中川番所の史料をもとめて
 (3)—奥州幕領の廻米輸送 龍澤 潤
 ココにも歴史があった／囲炉裏ば
 た(大石家日記)(9) 大石家の
 ノリ養殖道具

◆城郭だより 日本城郭史学会会報
 〒174-0056東京都板橋区志村1-35-2-202
 TEL03-3967-1948

◇66 2009.7 A4 6p
 新知見の城郭写真—後藤仁公編著
 『古絵葉書にみる日本の城』が
 近刊

最近の城郭ニュースから／平成21
 年度総会・大会報告／最近の注
 目される城郭関係図書から／史
 学会活動報告

◆西郊民俗 西郊民俗談話会
 〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
 大島方 年2000円
 www11.ocn.ne.jp/~oinari/

◇207 2009.6 B5 37p
 西丸山の祈禱囃子と天狗の人形 立石 尚之
 三浦の御霊 大島 建彦
 浅草鷲神社の酉の市
 —東京都台東区千束鷲神社 長沢 利明
 富山県黒部市福平における狐犬の
 民俗—越後源一家の場合 森 俊
 山形県における野兎狩りの民俗
 (上)—威嚇狐と関連習俗の概要
 を中心に 天野 武

◆せたかい 世田谷区誌研究会
 〒157-0061東京都世田谷区北烏山3-6-1
 下山照夫方 TEL03-3326-1527 年2000円
 homepage2.nifty.com/mits/kushiken/

◇60 2009.7 B5 119p 1000円
 「せたかい60号」発刊にあたって 下山 照夫
 発刊60号を祝して 熊本 哲之
 発刊60号を祝して 若井田正文
 発刊60号を祝して 大場 信秀
 『せたかい』還暦を祝い 稲葉 和也
 会誌発刊60年のお祝によせて 桜井 正信
 「せたかい」60号記念誌発刊にあ
 たって 森 安彦
 《特集 世田谷の伝説》
 武蔵野の民話 下山 照夫
 勝光院薬師佛縁起について 下山 照夫
 喜多見のまむし除け 田丸 太郎
 世田谷の伝説と技術の伝承 編集部

明治薬科大学略年史 瀬村 進
 世田谷の実業家 西川末三 瀬村 進
 元禄の六地藏 相原 明彦
 昭和20年代の世田谷城及び豪徳寺
 の「土塁」「堀・濠」の記憶 采澤 正臣
 ドキの話 大森弥寿男
 世田谷における河口慧海の講義録
 河原 英俊
 追悼 寺内大吉師 編集 部

◆全日本郷土芸能協会会報

〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク
 ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290
 年2000円 www.jfpaa.jp

◇56 2009.7 A4 26p

熊谷うちわ祭 埼玉県熊谷市
 第14回総会／ユネスコ無形文化遺
 産リスト／平成21年度第51回ブ
 ロック別民俗芸能大会／国会図
 書館への納本始まる
 第11回全国こども民俗芸能大会／
 第6回伝統文化研修セミナー
 子どもこそが地域文化の支え
 第12回全国獅子舞フェスティバ
 ル・白山市 白山の獅子舞／鳥
 海獅子まつり

新緑の「小豆島」に全国から集う
 2日間 第19回全国地芝居サミ
 ット in 小豆島・肥土山農村歌
 舞伎報告

小豆島紀行 菅野 芳治
 関連図書 ひだ・みの 地芝居の
 魅力／写真集 肥土山農村歌舞
 伎 伝統を継承する人たち
 地芝居探訪(31) 松浦 鳥夫
 地芝居公演情報 7月～10月
 白鳥・夏の想ひ出
 拝殿踊りに酔う 岡野 正昭

松平流傍目八目(32) 現代の民俗
 芸能のかたちへの模索 松平 誠
 民謡・民舞特集
 香川県 さぬきばやし保存会 東尾 清穂
 群馬県 上州八木節会 加藤 義雄
 島根県 関乃五本松節保存会 鷗鷗 修一
 神奈川県 相模原市民俗芸能保
 存協会 関根 遼
 広島県 音戸の舟唄保存会 坪井 秀則
 茨城県 利根地固め唄保存会 井原 正光
 民謡・民舞団体会員情報／民謡・
 民舞が楽しめる夏のお祭り
 会員行事カレンダー祭暦
 2009 7月～10月
 民俗楽器(32)
 ケーフラの象と楽隊 山本 宏子
 ビジットジャパンをプロデュース
 する 地域伝統芸能を元気にさ
 せる演出技法(2) 中坪 功雄
 良書紹介 やまがた民俗文化伝承
 誌／村の伝統芸能が危ない／魔
 界と妖界の日本史

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇186 2009.6 A4 2p 100円

『風俗画報』が載せる雑業 江戸
 市中世渡り種(7)／鑄掛け師と
 輪師

◇187 2009.6 A4 2p 100円
 佃踊(念仏踊)

◇188 2009.7 A4 2p 100円
 「ささら」「こきりこ」「あみだけ」

◇189 2009.8 A4 2p 100円
 『風俗画報』が載せる雑業
 江戸市中世渡り種(8)

◇190 2009.8 A4 2p 100円

思い入れや俗説を排し、逐一原典
 で確認！ 斯界待望の書第一弾
 『江戸の大道芸人』遂に刊行(送
 料共2000円)

◆多摩地域史研究会会報

〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
 文化財COM内 TEL042-521-0186

◇89 2009.8 B5 14p

第18回大会報告 第18回大会「中
 世の狭山丘陵」に参加して 北村 拓
 立地と景観から考える多摩の中世
 (前期)寺院—江戸期の地誌・絵
 図と近代地形図を手がかりに
 (8) 馬場 喜信

新刊紹介

森安彦編著『武蔵国多摩郡関前
 新田名主井口忠左衛門と御門
 訴事件』(平成20年11月、井口
 良美発行) 外池 昇
 小金井市史編さん委員会(会長
 阿部猛氏) 編『小金井市史資
 料編 小金井桜』(平成21年3
 月、小金井市) 外池 昇

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686東京都国立市中1-9-52
 たましん国立支店内 TEL042-574-1360
 年1200円 www.tamashin.or.jp

◇135 2009.8 A5 114p

《特集 天変地異》
 多摩川中流域における開発と災害
 —日野・八王子地区を中心に 原田 信男
 多摩の歴史天文史料 谷川 清隆
 八王子隕石—江戸を騒がせた不思
 議な石の落下について 森 融
 鯛と薪—『安政風聞集』と『公私

日記』 庄司 亮
 安政年間、狛江市域における風難
 ・水難・病難 富永 春芳
 さし絵のなかの多摩(46) 多摩の
 祭礼の屋台型山車—普明寺蔵
 「山王祭礼図絵」より 齋藤 慎一
 洋風建築への誘い(24) 多摩湖・
 狭山湖の取水塔を訪ねて 伊藤 龍也
 建物随想記(19) クラシックから
 インターナショナル・スタイル
 まで 酒井 哲
 倚錫碑が語りかけるもの—御門訴
 事件百四十回忌に寄せて 飯畑 幸男
 本の紹介
 久保田喜一著『写し絵日記 明
 治の写し絵師・玉川馬蝶の興
 行の記録』 田嶋 学
 小金井市史編さん委員会編『小
 金井市史 資料編 小金井桜』
 鈴木 章生

◆地方史研究

地方史研究協議会(発売:岩田書院)
 〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5
 名著出版内 TEL03-3816-0739 年6600円
 ◇339 (59-3) 2009.6 A5 120p 1143円
 近世後期における高野山参詣の様
 相と変容—相模国からの高室院
 参詣を中心に 佐藤 顕
 近代労働力移動の地域的展開—明
 治中期における香川県の出稼ぎ
 と移住 嶋田 典人
 第50回日本史関係卒業論文発表会
 要旨
 地域博物館とは? そして「日本」
 の学芸員とは? 石山 秀和
 全日本博物館学会2008年度第3回
 研究会「あらためて考える 博

博物館の存在価値とコレクション」参加記 鎮目 良文
 横浜市史から横浜市史資料室へ 羽田 博昭
 「開港期の相武地域史研究会」について 馬場 弘臣
 隼人文化研究会について 永山 修一
 展示批評「深化」する展示「一粒入魂！—日本の農業を支えた種子展—」を見て 平野 恵
 書評 地方史研究協議会編『歴史に見る四国—その内と外と—』川岡 勉
 研究例会報告要旨 中村陽平／竹内昆明
 西村健／毛塚裕之

◆つぶて 悪党研究会
 〒177-0033東京都練馬区高野台5-9-5
 渡邊浩史方

◇12 2009.5 B5 12p
 書評 悪党研究会編『悪党と内乱』

◆東京産業考古学会 東京産業考古学会
 〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
 多田統一方 FAX03-3964-8548

◇78 2009.7 B5 12p
 橋のデザイン私見 川上顕治郎
 近代化産業遺産群講演会の概要報告 平井 東幸
 文献紹介 高崎経済大学附属産業研究所編『群馬産業遺産の諸相』
 日本経済評論社 多田 統一
 東京文化財研究所の産業遺産への取組み 平井 東幸
 足尾銅山見学記 中住健二郎
 硫黄島の戦跡 河合 恭平
 赤煉瓦探訪(25)
 ブリック・マイスター鬼頭日出雄(5) 八木 司郎
 三河島水再生センター見学記 山名 式雄

研究所めぐり 多田 統一
 新刊紹介『産業遺産を歩こう—初心者のための産業考古学入門—』 田口 勇

◆東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信
 〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1

◇46 2009.7 A4 24p
 巻頭図版 天保下総国絵図(勘定所本) 村形に隠れる生実藩陣屋
 史料紹介と研究
 国立公文書館所蔵下総国元禄・天保国絵図調査報告1)「『地図史料学の構築』の新展開」研究グループ 杉本史子／梅田千尋
 「古地図・絵図所在情報データベース」への期待 平井 松午
 南島雑話とその周辺(16) 石上 英一

文献案内
 山本聡美・西山美香編『九相図資料集成—死体の美術と文学—』(岩田書院、2009年2月) 藤原 重雄
 泉武夫「北野天満宮蔵「舞楽図」衝立について—古代末期～中世初期の楽舞の状況から—」(『美術史学』29号、東北大学大学院文学研究科美術史学講座、2009年3月) 藤原 重雄
 京都府立丹後郷土資料館編『丹後丹波の薬師信仰—麻呂子皇子鬼退治伝説の源流を求めて—』(2008年10月)／鳥取県立博物館編『はじまりの物語—縁起絵巻に描かれた古のとり—』(2008年10月) 藤原 重雄
 鳥居和郎「後北条氏関係文書の

料紙と折込—形と折りに込められた意識—」(『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』34、2008年3月) 林 譲
 上杉和央「博物学と地図収集ネットワーク」(京都府立大学学術報告「人文・社会」第60号、2008年12月) 松井 洋子
 画像史料関係文献目録

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース
 〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4
 (助政治経済研究所 TEL03-5857-5631
 www.tokyo-sensai.net)

◇15 2009.7 A4 8p
 無差別爆撃の実相と課題に沿って—猫の語りもあるDVDブックの刊行です 早乙女勝元
 体験した世代と受け継ぐ若い世代をつないで 東京大空襲・戦災資料センター 7周年 東京大空襲を語り継ぐつどい 高岡 岑郷
 2009年度第1回特別展開催報告
 『死んでもプレストを』原画展
 その時、墨田電話局では何が起こったか
 語り継ぐ 若い世代からのことば
 研究・交流「青年団報」を集めています—空襲したの民衆による消防活動の源流をたずねて 山本 雅人
 国際交流 東京大空襲と朝鮮人遺族の来館や韓国での紹介など／『日本の戦争記憶と平和祈念館』でセンター紹介

◆練馬郷土史研究会会報
 〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
 吉越正博方 TEL03-3996-4454

◇322 2009.7 A4 4p
 「服部半蔵幸隆」人物考(4)—高松廃寺の仁王像銘をめぐるM氏書簡によせて 日向康三郎
 豊島氏関係史料を読む(12) 関東公方足利成氏と豊島氏(3) 伊藤 一美
 昭和史雑感
 昭和天皇と将軍達(5) 鎌田 茂男

◆練馬古文書研究会会報
 〒177-0053東京都練馬区関町4-15-3-603
 鈴木方 TEL03-3920-3627
 www.2u.biglobe.ne.jp/~shiba/

◇42 2009.6 B5 6p
 『練馬ふるさと事典』の完成に向けて 柴辻 俊六
 『忠臣蔵』の虚と実 谷口 眞子
 古文書にみる練馬大根(上) 長坂 淳子
 事務局通信 平成21年度総会報告 鈴木 義範

◆東日本部落解放研究所ニュース
 〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
 TEL03-5603-1863

◇75 2009.8 B5 10p
 第23回研究者集会・開催要綱
 「歴史」分科会 東日本における水平運動、融和運動・融和政策 藤沢 靖介
 「教育」分科会 差別と向き合う—人権・同和教育の現状と課題 松浦 利貞
 「狭山」分科会
 狭山事件と裁判員制度 藤沢 汎子
 第24回定期総会を開催 藤沢 靖介
 第24回総会／講演の報告 高橋典男さん／NPO法人・人権センターながの「地域における部落

差別の現状とその取り組み—長野県からの報告—	吉田 勉	8134 www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/	「住居状遺構」の性格は？ 木村 旭志	谷公園伝統の大蛇」太田省三／
◆民衆史研究 民衆史研究会		◇11 2009.5 B5 10p	相模原市見学会	「丑川と目黒地区の伝統」太田
〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1		〈2009年度第39回明治維新史学会大会報告要旨〉	多摩川流域の古墳見学会 細川 恵司	省三／「正泉寺『名墓』の石標
早稲田大学文学部 大日方研究室内		戊辰戦争史料としての戦状届書に	日本考古学2009／講演会「古代	の完成」羽倉敬尚
◇77 2009.5 B5 88p 1500円		関する一考察 箱石 大	人の生活意識と死」／第4回会員	肥前稲荷大明神縁起(2) 宮川 栄一
《特集		江差における幕末維新史関係史料	案内による地元見学会 葛飾・	多摩川の花火 栗山 佳也
中世地域社会における宗教活動と民衆》		について 宮原 浩	柴又を訪れる	◇655 2009.8 B5 8p 150円
特集にあたって 民衆史研究会委員会		〈2008年度明治維新史学会秋期大会討論要旨〉	図書案内 『諏訪湖底曾根遺跡研	三田用水「茶屋坂隧道モニュメン
中世後期の勧進聖と地域社会—高		田口由香氏「文久二年長州藩の藩	究100年の足跡」 発行・曾根遺	ト」が設置された 平山 元也
野山寂靜院増進上人の活動を事		是転換」 白石 烈	跡研究会 三上 徹也	江戸五色不動の謎(5) 田丸 太郎
例として 太田 直之		上田純子氏「幕末期萩毛利家の軍	明大コレクション(14)	会報にみる目黒の昔(21)「田楽
中世後期の東国社会における山伏		制改革—海防・軍備・諸隊—」重田 麻紀	舟塚古墳の円筒埴輪	橋と猿楽町一)」浅海行夫／「田
の位置 近藤 祐介		中元崇智氏「『土佐派』の「明治	◆目黒区郷土研究 目黒区郷土研究会	楽橋と猿楽町二)」浅海行夫／
民衆史研究会2008年度大会シンポ		維新観」形成と『自由党史』—	〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13	「三十余年前の回想」関正二 編 集 部
ジウムコメント 榎原 雅治		西郷隆盛・江藤新平像の形成過	長澤英男方 TEL03-3711-3959	明治十一年・東郷さん 橋口 明子
シンポジウム討論要旨		程を中心に—」 鵜飼 政志	◇653 2009.6 B5 8p 150円	蛙の命の池 仲野 基道
平安遷都千百年紀祭における寄付		2008年度明治維新史学会秋期大会	バス見学会記	商店街のフラッグ(旗)
金募集活動の実相—明治20年代		会記事	東松山市・吉見の古跡巡り 目黒 英夫	特色生かしてはためく 編 集 部
における民衆と天皇 吉岡 拓		◆明治大学博物館友の会会報	五本木・屋敷神の一つ	吉良治家の帰国(1) 竹田 務
書 評		〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1	肥前稲荷大明神縁起 宮川 栄一	◆論集きんせい 近世史研究会
佐賀朝著『近代大阪の都市社会		TEL03-3296-4448 年3000円	江戸五色不動の謎(3) 田丸 太郎	〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
構造』 中村 元		www.meiji.ac.jp/museum/	明治九年・東久世さん 橋口 明子	東京大学文学部日本史学研究室気付
繁田信一著『庶民たちの平安京』		◇21 2009.7 A4 10p	会報にみる目黒の昔(18)「江戸	TEL03-3812-2111 1978年創刊
岩本 健寿		2009年度友の会総会終わる	のサンタ・マリア (一) (二)」	◇31 2009.5 B5 76p
妻鹿淳子著『近世の家族と女性		明治大学博物館友の会「古文書を	樋口信助	近世初期の朝廷機構と江戸幕府
—善事褒賞の研究』 北村 厚介		読む会」主催「茨城県南の古文	柿の木坂移り変わり 柿の木坂風	—明正上皇付公家衆を事例に 村 和明
展示会批評		書と史跡をめぐる」道中記 森 朋久	景 町内アンケートに基づく	豊後国杵築城下の段尻芸に関する
埼玉県立歴史と民俗の博物館特		博物館事務長に就任して 伊藤 光郎	柿の木坂談話より	史料について 神田 由築
別展「誕生 武蔵武士」 大澤 泉		企画展「江戸の罪と罰『徳川幕府	三田用水の石橋供養塔再建される	史料紹介 平松時行『女院御用雑
すみだ郷土文化資料館開館10周		刑事図譜』の世界—博物館で「人	平山 元也	記』(宝暦3年)—翻刻と解題(2)
年記念特別展「隅田川文化の		権」を考える」／2009年度秋季	◇654 2009.7 B5 8p 150円	女御院所研究会
誕生」 木下はるか		特別展「大名と領地—お殿様の	5月見学会参加記	
◆明治維新史学会だより		お引越し」／企画展「瀬戸赤	大井光福寺から大森貝塚へ 山内美貴子	◆小田原史談 小田原史談会
〒195-8550東京都町田市広袴1-1-1 国士舘		津焼—伝統的工芸品の経営とマ	碑文谷厳島神社再建完成報告 高林 謙二	〒256-0816神奈川県小田原市酒匂2-24-13
大学文学部 勝田政治研究室 TEL042-736-		ーケティング」	江戸五色不動の謎(4) 田丸 太郎	植田方 TEL0465-48-9072 年3000円
		相模原市見学会	明治十年・西郷さん 橋口 明子	◇218 2009.7 B5 28p
			会報にみる目黒の昔(20)「碑文	徐福—創られる伝説 達 志保

小田原戊辰戦役の真相—小田原城
の天守八尊と諸山十尊 石井 啓文
西岡遼明
—ある文人司法官の生涯(6) 直江 博子
小田原城 馬出門が復元
小田原藩浅田兄弟の敵討
『孝貞義鑑』散策(2) 鈴木 好
青春の大連 瀧本文江さんに聞く
勝俣淳一郎／平倉正
旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝
奇跡的なめぐりあい 武田 敏治
私の青春(前)
—京都練習飛行隊と終戦 菅沼 博
史談再録(8) 鉄道記念館(弁慶
号)『小田原史談』第36号(昭
和39年9月号) 額田喜代春
片岡日記(44) 片岡永左衛門
小田原史談雑記帳 「豚一様」と
呼ばれた徳川慶喜公 石井 啓文
平成21年度総会報告 小田原史談会

◆鎌倉 鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300
◇107 2009.6 A5 113p 1500円
戦国前期六浦における扇谷上杉氏
家臣の動向 盛本 昌広
中世東国の律院の茶—称名寺とそ
の寺領・末寺を通じてみた鎌倉
の茶 永井 晋
得宗被官工藤氏の基礎的考察 今野 慶信
余録 鎌倉乃記(2)—七里ヶ浜(1)
御白 坂本 俊雄
円覚寺佛舍利出府記録 佐藤 清二
『亀谷山記録』(5) 鎌倉古文書研究会
神奈川の窓(24)
—「地方史研究」から 井上 隆男

◆湘南考古学同好会々報
〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104 寺田兼方方
◇116 2009.8 B5 24p
考古学とはひろい学問である 奥野 雅彦
中嶋登さんの他界を惜しむ 寺田 兼方
中嶋登編・著作目録 細井 守
さば神社を考える(9) 西村堅一郎
石皿と磨石のある風景
中米グアテマラの台所道具 桑原安須美
伯耆で暮らして—博労町(ばくろ
うまち)遺跡発掘記 浜野 浩美
第4回若手研究者を囲む勉強会参
加記 西野 吉論
平成21年度湘南考古学同好会 定
例総会の記録

◆扣之帳 扣之帳刊行会
〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円
◇24 2009.6 A5 96p 500円
足柄学講座 山北編(1) 河村城の
こと—秘本『梅風記』 藤井 良晃
「瓜生坂」の由来
瓜生外吉・繁子夫妻 岸 達志
亀右衛門咄(2)
殿さんのお国入り 青木 良一
酒匂だより 町田紀美子
今川氏真夫人早川殿 今川 徳子
ボクの映画館(4) 着流しで全力
疾走できますか?—アラカンと
イドウダイスキ 平倉 正
地下水と水田 富家 和男
あるご縁で知った戦争体験 佐久間俊治
教師アームストロングは尊徳をど
う理解したか 尾上 武
蝙蝠の飛来 佐宗 欣二
出番のなかった調理師免許 剣持 芳枝

足利周辺の碑文を探る(8) お日
待ちの神様の代表格、今はその
形骸のみ路辺に在り—庚申塔考
平賀 康雄
村芝居よオ〜 本多 博
悲琴抄(3) 茂木 光春
「亀右衛門咄」を想う 加藤 利之

◆民具マンスリー
神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円
◇495 (42-3) 2009.6 A5 24p 350円
ツクサの伝承—岐阜・愛知両県
をめぐって 脇田雅彦／脇田節子
『会津農書』にみる施肥用具—糸
ば・簀・垂袴の呼称をめぐって
佐々木長生

書籍紹介
『地域の記憶 岩手県葛巻町小
田周辺の民俗誌』 名久井文明
『会津若松市25 民俗編⑤ 生活
人の一生と暮らし 人生儀礼
・民俗信仰』
◇496 (42-4) 2009.7 A5 24p 350円
錫器の制作工程
—挽き物を中心として 宮元 正博
際物としての絵馬
—房総東部の小絵馬習俗(2) 榎 美香
収蔵庫を覗いてみれば 川崎市市
民ミュージアム所蔵の灯火具コ
レクション 高橋 典子
◇497 (42-5) 2009.8 A5 24p 350円
撚り蕨器小報告 畠山 豊
〈みて〉〈ふれて〉〈きいて〉そし
て〈かながえる〉展示を目指し
て 深澤 靖幸
民具短信

新島村のコーガ石について
—島の成り立ち 北村 武
福島県立博物館歴史・美術テー
マ展示「アイヌの民具とくら
し」展について 野堀 正雄
アチック・ミュージアムの民具コ
レクション(25) 角樽 近藤 雅樹

◆悠久
鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315
◇116 2009.5 A5 100p 680円
《特集 狛犬》
口絵 ゼーンブこれ、狛犬
エッセイ 祭りの男は美しい 三隅 治雄
神社と狛犬—狛犬に見る国民性 上杉 千郷
獅子狛犬の源流 伊東 史朗
獅子狛犬の様式と展開 伊東 史朗
狛犬とゆく言語学ツアー 佐藤 貴裕
守り神としてのシーサー 大城 學
加賀の飛翔狛犬 相古 誠一
東照宮と狛犬 落合 偉洲
コラム 狛犬と私 三遊亭円丈
コラム 陶磁の狛犬について 青木 本吉
八幡宮紹介 府中八幡神社(広島
県府中市出口町)

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会
〒223-0056横浜市港北区新吉田町3255
八城東郷方
◇62 2009.5 B5 51p
平成21年度会長就任に際して 八城 東郷
平成21年度定期総会開催
平成21年度全国歴史研究会新年会
開催
戦国末期の武将 中田加賀守(4) 八城 東郷
藤田能登守の波乱の生涯 竹村 紘一

江戸時代鎖国における対外関係の諸相について(2) 萩島 和男
毛利軍 vs 尼子軍における山中鹿之介幸盛の毀誉褒貶 横山 忠弘
東海道本線の建設の歩み(最終回) 鈴木 英男
歴史研究会創立51周年 第25回全国大会(東京)開催予定
平成20年秋・横浜歴史研究会一泊二日の旅
エッセイ 対馬—私の歴史の原点 和田 敏子
随想 拙文と高僧 堀江 洋之
歴史一口メモ(22) 前部 謙蔵
エッセイ 鎌倉に眠る門外の士 八城 東郷
歴史研究会全国大会(出雲)開催／平成20年度・秋季歴史散歩 鎌倉街道「朝夷奈切通し」沿いを巡る
エッセイ
音の絆—ある先生の思い出 丹下 重明
達率日羅と大伴軍団 田邊 英治
「倭人伝」雑考(3) 倭の習俗 間淵二三夫
善光寺秘仏を拝見した人(中) 石川 勝義
「うしろう」との出逢い 加藤 導男
平成20年度臨時総会開催

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/
◇372 2009.7 A5 37p
越後蒲原平野における割地慣行の終焉(1) 中村 義隆
新潟県の以仁王伝説 高橋 実
魚沼の地にトキ飛来観察記 青山 幸子
威嚇猟における猟技術(1)—野兎

を目指す場合は単独猟であるのか、小人数猟の提唱 天野 武

◆佐渡伝統文化研究所だより
佐渡学センター
〒952-0021新潟県佐渡市秋津1596
両津郷土博物館内 TEL0259-23-2100
www.city.sado.niigata.jp/sadobunka/denbun/
◇1 2007.12 A4 4p
刊行のことば 石瀬 佳弘
平成19年度上半期事業について
資料紹介 相川地区 瑞仙寺所蔵の涅槃図

伝文研ホームページの活用について
◇2 2008.3 A4 4p
歴史資料の保存と活用 石瀬 佳弘
資料紹介 佐渡奉行所跡出土鉛板
歴史的資料のデジタルアーカイブ化の重要性
電子出版による『佐渡伝統文化研究所 年報』と『佐渡の鷺流狂言』の発行のおしらせ
◇3 2008.9 A4 4p
集落史編さんと史資料の保存について 北見 継仁
資料紹介 一枚の短冊から 八木千恵子
「e-文書法」をご存知ですか(電子文書の保存と管理) 池田 雄彦
天領ゼミナールの報告及び記録集、研究所年報発刊のお知らせ 滝川 邦彦
◇4 2009.3 A4 4p
文化財と観光資源 石瀬 佳弘
特別寄稿 「天地人」と佐渡 本間 雅彦
調査レポート
佐渡市畑野地区長谷寺の棟札調査 北見 継仁
新潟県立文書館の史料所在確認

調査について 八木千恵子
ちょっとサイエンス 江戸時代の時刻表記「辰時」について 池田 雄彦



*数ある平成の大合併の中でも、島中の全ての自治体である1市7町2村が大同団結した佐渡市の誕生には些か驚かされた。しかし、島としての地理的な独立性や、古代より一国として存在してきた歴史性に鑑みれば、先祖返りとも言うべきか、他の大合併とは根の違ったまとまりを感じさせられる。

佐渡には、「金銀山とそれによって育まれた芸能や文化、流人や廻船によってもたらされた文化、そして多様で豊かな自然にも恵まれており」、佐渡伝統文化研究所は、そうした「佐渡独特の歴史や文化、多様で豊かな自然などの調査研究と保存活用をめざして」(百瀬佳弘「刊行のことば」より)、2007年に創立されたものである。所長の百瀬氏は、前掲の刊行のことばで、佐渡市の未来は、特色ある地域づくり、人づくりとともに、歴史、文化、自然を観光資源として如何に活用していくにかかっているとし、まずは、島民自身がそのすばらしさに気づき、誇りと感謝の気持ちを持つことが大切であり、そうしなければ、佐渡を訪れた人に感動を与えることはできないと述べている。

研究所はすでに、文化財の調査・報告、天

領セミナーの開催と報告及び記録集の刊行、石造物のデータベース化、歴史・文化・自然に関するデジタルアーカイブの作成・公開、ホームページ「佐渡の歴史と文化」による最新情報発信などの事業を進めている。

特にホームページは充実しており、指定及び埋蔵文化財、民俗芸能、歴史、小木海岸・佐渡海府海岸、人物、郷土資料、出版物、博物館・資料館・植物園、その他の地域データなどを見ることができる。中でも、人物のページの流人データは、時代、和暦、西暦、月日、職位・肩書、名前、概略(関係事項)、文献等のそれぞれのキーワードの部分一致で検索できるというユニークな構造になっている。是非アクセスしてみてください。

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立中央図書館文書資料室内
TEL0258-36-7832 年3500円

◇46 2009.5 B5 200p
鳥越城の縄張りについて 鳴海 忠夫
栃尾における上杉謙信の事跡検証
(1)—上杉謙信、栃尾下向の意
味と瑞麟寺の歴史 石田 哲彌
上杉謙信の密教と毘沙門 土井 重男
長岡南境 上杉氏ゆかりの山城 広井 忠男
朝日百塚に関する文献資料 田中 洋史
平成の修理に見る蔵王安禅寺に伝わる仏像群 鰐淵 好輝
蔵王安禅寺領政の実情
—宝暦の飢饉を中心として 田所 和雄
学問所の縁辺を探る 本山 幸一
茶道の古文書と蔵書を楽しむ 小林 良子
河井継之助の政治姿勢(6) 稲川 明雄
北越戊辰戦争の鉄砲について 内山 弘
『河井継之助傳』と曾祖父「肥田野畏三郎」(1)—『河井継之助傳』

との出会い 吉崎こずえ
 小金井良精と「ワルダイエル先生」
 序章 蔵書票をめぐる旅 桜井奈穂子
 コロンビア大学講師・杉本鉦子
 『武士の娘』執筆のころ 青柳 保子
 天才歌人 内藤銀策伝 深滝 純一
 山古志地域の色鯉と角突き(後)—
 山古志地域の歴史的風土を探る
 滝沢 繁
 長岡高等工業学校の甲式3型戦闘
 機 前田 英文
 「一九四五・長岡戦災焼失図」「一
 九四五・建物地図」制作の思い
 出(11) 福島江(流雪溝)流域 桜井 修
 地震雑感 志水 博
 巡見報告
 与板地域探訪記 藤山 純司
 米沢市・兼統縁の地巡り 内藤 孝
 南魚沼市・兼統ゆかりの地巡り
 大谷内トキ子
 開催報告
 平成20年度 古文書解説講座 稲垣美知子
 報告 新潟県中越地震災及び中越
 沖地震の被害状況(5) 金垣 孝二

◆良寛だより 全国良寛会会報
 〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
 化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
 ◇125 2009.7 B5 24p
 良寛遺墨解説(83) 加藤 僖一
 良寛尊像つれづれ(87) うさぎと
 良寛さま 新潟良寛研究会 小
 島久雄氏作 涌井 茂
 折々の良寛(14)
 良寛生誕250周年を顧みて 長谷川義明
 全国良寛会南魚沼大会盛会に 加藤 僖一
 全国良寛会 春の役員会報告 加藤 僖一
 春の野に—良寛の和歌による—

新曲発表「お寺で音楽を楽しむ
 会」 山崎 良紀
 施頭歌「山笹に霰たばしる音はさ
 らさら…」は誰の作か 富澤 信明
 良寛180周年記念 平成22年度全
 国大会へ(1) 世界遺産比叡山
 延暦寺 訪ね歩記—忘己利他 齋藤 信夫
 追悼 近藤知子様
 無性に寂しい 松世 勝久
 近藤知子夫人を偲ぶ 山本 良一
 耕し種蒔く人よ
 悼詞 近藤トモ様に捧ぐ 水上 梨恵
 写真家・浅井愼平氏の「良寛さん
 の遺跡巡り」のお供をして 川口 霽亭
 各地良寛会紹介
 三条良寛会の三十年 五十嵐 稔
 富山良寛会二十周年記念 牧野 好男
 トピックス／新刊紹介／会報・会
 誌紹介

◆北陸石仏の会会報
 〒939-1315富山県砺波市太田1770
 尾田武雄方 TEL0763-32-2772 年3000円
 ◇34 2009.5 B5 4p
 横綱 阿武松(おうのまつ)の墓 平井 一雄
 北陸石仏の会 第37回例会報告
 富山市薄島の馬頭観音石仏調査報
 告書 尾田 武雄

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
 〒920-0963石川県金沢市羽町3-1
 TEL076-262-3236
 www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/
 ◇92 2009.7 A4 6p
 重要文化財指定記念 夏季特別展
 「春日懐紙・春日本万葉集とふ
 るさとの文芸」
 貸出中の館蔵品／催事日録／れき

はくトリヴィア 本物の迫力・
 舟小屋

◆能登のくに 能登を知る会
 〒927-1214石川県珠洲市飯田町14-71
 西山郷史方 TEL0768-82-0297 年1000円
 ◇臨時号 2009.8 B5 2p
 2009・平成21年度下半期予定 8
 月21日「正院町(珠洲市)を歩く」、
 9月19日「ぶらり三十三観音の
 たび②」、10月7日「能登を知る
 会」公開講座・現地散策

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所
 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145 TEL
 0265-53-4670 www.city.iida.nagano.jp/iuhr/
 ◇40 2009.6 A4 4p
 飯田・上飯田の史料調査を行って
 います／2009年度研究計画を
 ご紹介します／2009上半期飯
 田アカデミア／歴史研究活動を
 助成します／歴研ゼミ
 リレーエッセイ 新スタッフ紹介
 本島和人／池田勇太
 ◇41 2009.8 A4 4p
 第7回地域史研究集会を開催しま
 す／2009下半期 飯田アカデ
 ミア／歴研ゼミ／近刊紹介『飯
 田市歴史研究所 年報7』
 市民の声
 よみがえる江戸時代への感覚 伊藤 昭雄
 リレーエッセイ 本年の研究集会
 のテーマ「アジア・太平洋戦争
 にいたる道—霞ヶ関と飯田から
 —」について 上山 和雄

◆伊那 伊那史学会
 〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048

TEL0265-22-6017 年5500円
 ◇973 (57-6) 2009.6 A5 50p 500円
 《伊研協208シンポジウム報告》
 口絵 下伊那の本棟造り 松上 清志
 〈伊那谷研究団体協議会2008シンポジウム〉
 報告 伊那谷らしさをさぐる—伊
 那谷学へのアプローチⅡ
 挨 拶 今村 理則
 問題提起 伊那谷まるごと博物館
 と伊那史学の概念 羽場 睦美
 研究発表
 下伊那教育会参考館の考古資料
 の再検討—参考館3号室の再
 整理から見えてきた阿島式土
 器とその意義 守屋 武浩
 最近目立つ哺乳類 宮下 稔
 飯田市近辺における霧の発生に
 ついて—霧のできる条件の追
 求 近松志津夫
 飯田下伊那地方の住まい—民俗
 調査からみえてきたこと 松上 清志
 ◇974 (57-7) 2009.7 A5 50p 500円
 口絵 杵原校舎における民具展示
 寺田 一雄
 木曾での鉄道誘致と宮越駅 神村 透
 座光寺村明治15年の村会議員選挙
 今村 善興
 鹿角製刀剣小考 木下 政利
 「御用日記」に見る旗本伊豆木小
 笠原家の諸相(2) 久保田安正
 大正時代の飯田町(2)
 —業種別家並帖 永井 辰雄
 下伊那日録(2006年10月～12月) 寺田 一雄
 ◇975 (57-8) 2009.8 A5 50p 500円
 口絵 毛賀沢秘境の不動ノ滝 松島 信幸
 遠ざかる敗戦
 櫻の樹の墓標—届かなかった殉
 国憲兵の遺書 下原 恒男

南方戦線に参加して 広瀬 啓一
 我が思い出の地 台湾 桑原 亮平
 豊川海軍工廠になった飯田中学
 校—女子挺身隊員と出会う 堅田 仁
 豊川海軍工廠になった飯田中学
 校—たった丸四ヶ月の学徒動
 員 松島 信幸
 あとを継ぐ
 現れた理兵衛堤防
 —発掘調査報告書から 伊藤 修
 異郷の地に暮らし—望郷の思い
 を方言集に込めて 柴田 烈

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
 TEL0265-78-6719 年5000円

◇629 (53-6) 2009.6 A5 40p 500円

《自然と人間との関わり特集》

伊那谷のツバメ類

—民俗の窓を通して(2) 吉田 保晴

住民の選好景観から見る、これか

らの景観施策への提案—伊那市

西箕輪地区の調査から 毛利 文陽

身近な地域の調査—西箕輪ウォッ

チング—社会科授業での地域

学習の試み 水上 俊雄

「手良村報」に見る昭和初期のく

らし(1) 十三年間続いた「手

良村報」 宮原 達明

古文書の窓(89) 「大田切川にて

夫 流死仕り候」 小木曾伸一

師匠の背中(2)より(9)

散炭を使う時 若林 徹男

本年度県外実地踏査の計画概要／

新刊紹介『辰野町資料第百号記

念号』

◇630 (53-7) 2009.7 A5 40p 500円

《井月特集》

「四徳と井月句碑めぐり」を振り

返って 宮澤 宏治

手良における井月の動勢とゆかり

の句碑建立 宮原 達明

長良川に佇む井月 矢島 太郎

「井上井月展 in 葛飾」を開催して

加藤すみ子

俳人 井上井月と「薬喰」 堀田 澄子

元禄検地帳に見る川下り郷

—耕地の土地開発状況 酒井 巖

伊那谷から甲州へ渡った為清の鰐

口 桃澤 匡行

文化短信 「合唱団・交流演奏会」

のための訪韓 堀田 澄子

師匠の背中(2)より(10) 真空管 若林 徹男

新刊紹介 『理兵衛堤防』『飯島町

郷土誌四』／『伊那路』との交流

団体・機関の紹介(4)

◇631 (53-8) 2009.8 A5 40p 500円

《終戦特集号》

陸軍伊那飛行場付属地下壕と「御

園工場」—補充された陸軍伊那

飛行場の歴史(2) 久保田 誼

戦前にラジオ放送された「千人塚

城ヶ池」築造の経緯—七久保村

長高坂宗重の農村経済更生事業

実践談 伊藤 一夫

「手良村報」に見る昭和初期のく

らし(2) 青年団体と戦争への

道・軍国主義の進行 宮原 達明

陸軍兵隊生活と戦時体験地訪問 矢島 太郎

中川村に残された戦時下の行政文

書 三浦 孝美

文化短信 歴史の里 吉田 保晴

古文書の窓(90)

台地上の原野開発 池上 正直

師匠の背中(2)より(11)

村祭り行き 若林 徹男

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034長野県飯田市追手町2-655

飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円

◇77 2009.6 B5 8p

越下倉臣さん、ミナエさんインタ

ビュー 遠山谷此田に生きる

片桐みどり／宮下英美／北原いずみ

臼・囲炉裏・坂畑

—食の民俗調査を終えて 野牧 和将

柳田国男の『信州随筆』研究(17)

自序 宮坂 昌利

伊那近代思想史研究会(26) 森本

州平日記を読む 外部より見た

作興会の活動—胡桃澤盛日記か

ら 橋部 進

◆伊那民俗研究

柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034長野県飯田市追手町2-655

飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

◇17 2009.5 A5 75p

「コト八日」の民俗世界 野本 寛一

未発表遺作論文 柳田国男の「民

族芸術と文化映画」と宮田登の

「映像民俗学の調査方法」をめ

ぐって—民俗事象の映像記録に

ついての諸問題の覚え書 野田 真吉

解説 記録映画作家・野田真吉の

こと 北村 皆雄

伊那民俗学研究所活動報告(2008.

4～2009.3)

◆信濃 信濃史学会

〒390-0805長野県松本市清水1-9-607

TEL0263-36-1785 年8400円

www.shinano-shigakukai.com

◇712 (61-6) 2009.6 A5 88p 900円

《隣県特集号

隣県地方史学界の動向—平成20年(2008)》

山梨県地方史研究の動向

網倉邦生／西川広平／高橋修

新潟県地方史研究の動向

石原正敏／相沢央／前嶋敏／

渡部浩二／田邊幹／池田哲夫

群馬県地方史研究の動向

深澤敦仁／築瀬大輔／丑木幸男

岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓

埼玉県地方史研究の動向

石坂俊郎／新井浩文／実松幸男

富山県地方史研究の動向

久保尚文／高橋延定／太田久夫

長野県地方史研究の動向

桜井秀雄／福島正樹／前澤

健／田玉徳明／細井雄次郎

◇714 (61-7) 2009.7 A5 80p 900円

信濃教育会による満蒙開拓青少年

義勇軍送出背景の検証(上) 小林 信介

長野県諏訪郡永明村立永明尋常高

等小学校長『小松茂日記』にみ

る「二・四事件」(下) 小平 千文

太陽信仰の文様

—渦巻文と鋸歯文について 柳沢 賢次

江戸末・木曾の宮越村にみる地域

相他—嘉永元年(1848)『人別御

改帳』より 神村 透

松本市四賀の殿村遺跡発掘速報 宮島 義和

セミナー報告

信濃史学会第92回セミナー 小野 和英

◇715 (61-8) 2009.8 A5 82p 900円

科野における終末期古墳の姿相 桐原 健

信濃教育会による満蒙開拓青少年

義勇軍送出背景の検証(下) 小林 信介

和算家町田源左衛門の実像を求め

て 小林 博隆

研究の窓

音訓変換法は実学である 長田 通倫
プランゲ文庫収録雑誌目録 長
野関係分 田玉 徳明
信濃史学会2009(平成21)年度定期
総会の報告

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13 上小
教育会館内 TEL0268-24-2182 年3000円

◇142 2009.7 A5 66p
横浜開港前における信州丸子地方
の生糸取引—小県郡飯沼村吉池
家と依田糸 井川 克彦
「腰越諏訪神社御柱御練り」をめぐり—その後 女形・中村梅児
の影を追って 小林 大二
日本人と「サケ・マス」の信仰(1)
—民話・小泉小太郎の伝説を追
って 白田 明
八幡大池の百八燈 古澤 昭二
窓(1) 松代への転封と真田信之 堀内 泰
目録の続編
屏写真一覧表—80号～140号 堀内 泰
古文書解説講座 第135回 寺島 隆

◆テラス 飯田市美術博物館ニュース
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
TEL0265-22-8118 www.iida-museum.org
◇82 2009.6 A4 4p
特別陳列 日夏耿之介の眼 谷中
安則の版画世界／特別陳列 天
龍峽—神仙境と文雅の歩み／企
画展 こんなの見つけた! ほ
くのわたしの里山コレクション
館長コラム 竹の秋 滝沢 具幸

◆長 野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7

TEL026-224-2673 年3000円
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇265 2009.6 A5 60p 700円
未来への提言 善光寺御開帳中の
表参道 清水隆史／小林竜太郎
《特集 善光寺と松代》

講演「善光寺と松代 御開帳でつ
ながる門前町と城下町」 小林 一郎
トークセッション「善光寺界限と
松代の歴史・まちづくり」
善光寺仁王門建設について 北村 市朗
一茶『父の終焉日記』の「本文・
別記、余白」を巡って 仁科 文男
善光寺地震などを伝える『見集録
坤』の紹介(4) 鬼頭 康之
講演「真田三代記」(20) 小林 一郎
◇266 2009.8 A5 60p 700円
善光寺門前の路地／未来への提言
善光寺七社の現在(2)
清水隆史／小林竜太郎

《特集 路地》
五十年前の地図で始める長野の路
地研究 小林竜太郎
五十年前の路地のいま 小林竜太郎
謡曲「一遍上人」にみえる善光寺
如来出現譚 小山 丈夫
謡曲「木引善光寺」 小林 一郎
福井県の善光寺式阿弥陀三尊仏と
その信仰(8) 北村 市朗
善光寺地震などを伝える『見集録
坤』の紹介(5) 鬼頭 康之
講演「真田三代記」(21) 小林 一郎

◆長野県民俗の会通信
〒390-0222松本市入山辺1403 木下守方
TEL0263-50-9911 年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇212 2009.7 B5 8p

「コキ柱」を持つ大田市美麻の民
家 伊藤 友久
第166回例会に参加して 百瀬 将明
松本の巨人伝説の伝承地について 小原 稔

◆岐阜市歴史博物館だより
〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内 TEL058-265-0010
◇72 2009.8 A4 8p
企画展「長良川うかいミュージアム」
特別展 市制120周年記念「岐阜
市民のあゆみ 人・モノ・写真
がつづる岐阜の歴史」
加藤栄三・東一記念美術館「加藤
栄三・東一 絵画に描かれた鶴
飼」
博物館ニュース 絵を読む 絵画
に隠されたやさしさ……
研究ノート 大野町来振寺所蔵
閻魔展曼荼羅図の修復を終えて
稲川由利子
館蔵資料紹介
詩歌連誹琴棋書画茶花会図

◆美濃民俗 美濃民俗文化の会
〒503-2227岐阜県大垣市青野町1180-1
大垣歴史民俗資料館内 TEL0584-91-5447
年1000円
◇505 2009.6 B5 6p 250円
金生山の大理石を用いた牛の像と
燈籠 鈴木 隆雄
殿様のくらし(74) 十万石大垣藩
主 戸田氏正の江戸暮らし(6) 清水 進
仏生寺春日神社の米かし祭り—用
水管理者の遺徳をしのぶ儀礼
(1) 清水 昭男
大垣市北方町 春季祭礼奉納相撲

見学記 長谷川恵三
◇506 2009.7 B5 6p 250円
杉山三郊翁の本田種竹山人宛書簡
について 村田榮三郎
生涯の友 清水たず子
情報技術社会の中で「生き方」を
問い求めて 高橋 智静
殿様のくらし(75) 十万石大垣藩
主 戸田氏正の江戸暮らし(7) 清水 進
随想 わらしべ長者と花木長者 堤 正樹

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532 TEL0538
-32-3546 www4.tokai.or.jp/child-c-j/
◇25 2009.6 A4 4p
信仰が支えた懐山のオクナイ 吉川 祐子
◇26 2009.7 A4 4p
小國神社十二段舞楽
お籠もり稽古の子育て力 吉川 祐子
◇27 2009.8 A4 6p
雨桜神社の祇園祭り
王の舞の地方定着 吉川 祐子

◆古 城 静岡古城研究会
〒426-0134静岡県藤枝市滝沢2690-3
平井登方 TEL054-639-0648
◇54 2009.5 B5 100p
深沢城攻防戦と周辺の城館跡—駿
東地域における城館跡の調査成
果より 望月 保宏
富士郡の吉野氏屋敷について 水野 茂
清水区の中世初期の豪族館跡 川村 晃弘
志太地区の城館調査 齋藤 作行
今川義元の三河・尾張進攻 大塚 勲
徳川家康の遠州侵攻と浜名湖北岸
の城—堀川城の戦いの再検討 高山 新司
城館レポート('08年) 編集部

◆静岡県近代史研究会会報

〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学
情報学部 荒川章二研究室内 年4000円
◇369 2009.6 B5 4p 200円
6月例会レジュメ 砂川事件の歴
史的意義を考える—伊達判決50
周年に際して 橋本 誠一
書籍紹介 静岡藩出身者の開拓使
出仕—門松秀樹『開拓使と幕臣』
によせて 樋口 雄彦
荒川章二著『日本の歴史 十六
豊かさへの渴望』(小学館)を読
んで 肥田 正巳
論文・書籍紹介(2) 村瀬 隆彦
◇370 2009.7 B5 4p 200円
7月例会レジュメ 渋沢栄一の歴
史認識と「公益」観—徳川慶喜
評価などをめぐり 見城 悌治
7月例会レジュメ 日本経済思想
史研究会第20回全国大会に参加
して 足立洋一郎
藤枝市岡部東谷山常昌院訪問記 村瀬 隆彦
◇371 2009.8 B5 4p 200円
「開かれた」研究への思い
—金澤史男さんを偲んで 沼尻 晃伸
金澤史男さんの死を悼む 荒川 章二
新刊紹介 『静岡連隊物語—柳田
芙美緒が書き残した戦争』 村瀬 隆彦

◆静岡県民俗学会誌

〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302
1977年創刊
homepage3.nifty.com/s-folklore/
◇27 2009.3 B5 47p
平成20年度大会記念講演
民俗相撲の諸相 山田 知子
研究ノート サルトリイバラの民
俗と方言—「炊し葉餅」の伝承

から 富山 昭
平成20年度卒業論文発表会発表要
旨 カラスは神使が害鳥か?—
各地の弓神事から探る 近藤 祉秋
研究メモ 白石太良著『共同風呂
—近代村落社会の入浴事情—』
を読んで 小杉 達
新刊紹介
『鵜無ヶ淵神明宮の御神楽』 荻野 裕子
『国記録選択無形民俗文化財調
査報告書 稲取のハンマアサ
マ』 大嶋 善孝
『富士山吉田口御師の住まいと
暮らし—外川家住宅学術調査
報告書—』 中村羊一郎
松田香代子監修『DVD葦川
理由域の民俗行事』 油井 正明
静岡県にかかわる民俗学関係文献
目録(2008年度) 多々良典秀

◆静岡県民俗学会会報

〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302
homepage3.nifty.com/s-folklore/
◇132 2009.7 A4 4p
平成21年度総会・大会終わる
木村博氏を悼む 富山 昭
静岡の民俗語彙・方言短信／博物
館情報／まつり・イベント情報

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659
◇125 2009.6 B5 8p
平成21年度総会
第84回研究会 望月古直氏「聖徳
太子と新羅」の概要／鈴木康弘
氏「古代銭貨の発行について」
の概要／渡辺誠氏「間の宿の考

察と宿泊紛争」の概要

◆豆州歴史通信 豆州研究社歴史通信部

〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
◇438 2009.6 B5 4p
近刊・図書紹介『図説 伊東の歴
史』(3万年を振り返る)伊東市
史編さん委員会編
受贈図書紹介『ほっと・ふるさと』
—伊東・熱海の歴史と旧跡の再
発見 加藤好一著
図書の寄贈を拒否する図書館
◇439 2009.6 B5 4p
神代時代の伊豆国に伝わる神話
「古典と上代人の生活」北山和
麿著より
◇440 2009.7 B5 4p
神代時代の伊豆国に伝わる神話
続「古典と上代人の生活」北山
和麿著より
◇441 2009.7 B5 4p
神代時代の伊豆国に伝わる神話
続続「古典と上代人の生活」北
山和麿著より
1880(明治13)年、伊豆地方 国会
設置の願望さかんになる
続 神様名称編集あとがき
◇442 2009.8 B5 4p
神代時代の伊豆国に伝わる神話
「古典と上代人の生活」北山和
麿著より(3)
史料紹介 郵便の値段 『物価の
文化事典』明治・大正・昭和・
平成より
◇443 2009.8 B5 4p
道路修繕費は温泉客から壹銭ずつ
ピンハネして捻出する 1877
(明治10)年7月 熱海温泉街は

急坂で道路狭し 人力車の通行
可能道路にして増客

◆六所家総合調査だより 富士市立博物館

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
TEL0545-21-3380
◇5 2009.7 A5 20p
〈特集 平成20年度特別調査概報〉
東泉院聖教の復元と『秘密源底口
決』の発見—調査中間報告 阿部 泰郎
『子安延命地藏尊像縁起』について 阿部 美香
東泉院と富士山信仰 大高 康正
將軍徳川家茂の上洛と東泉院 大高 康正

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
◇223 2009.7 A5 32p (抄)
熱田社の和歌と文学(24)—滝沢馬
琴『簑笠日記』の場合 八木意知男
神楽殿及びその周辺の発掘調査の
報告 野村 辰美

◆安城民俗 安城民俗談話会

〒446-0026愛知県安城市安城町清水23-4
川合正治方 TEL0566-76-6638
◇32 2009.7 B5 12p
『かや、榎、カヤ』追記1
孫のカヤ
『かや、榎、カヤ』追記2
嫁菓子と節分
榎の一考 鈴木 厚子
『かや、榎、カヤ』—嫁菓子に関わ
る民俗—から思いつくこと 杉山 洋一
礼状(手紙、はがき)
お嫁入り豆／寿 お嫁入り豆
談話会活動記録

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会
〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜
字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
TEL0569-65-2880
◇87 2009.5 A5 68p 500円
尾州廻船内海船舶主内田佐七家座
敷 中村 祥
師崎の左義長に思う 小林 豪俊
忠臣蔵事件最大の被害者・吉良左
兵衛義周 松井 一夫
知多半島は孤絶の一島? 村田 修
愛知用水夜話 加藤喜代吉
名古屋城築城の採石地 篠島(1) 松本 亀男
愛知県における明治期の地方誌教
科書(5の2)—明治26年以降の内
容を中心に 永田 文夫
南知多の捕鯨 山下 勝年
山頭火没後の「層雲」と橋本健三
(前) 大岩 隆
三郷(中之郷村馬場村北脇村)砂取
り争論 内田 辰男
南知多の人 師崎と野口所左エ門
磯部 宅成

◆郷土文化 名古屋郷土文化会
〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館 TEL052-741-9822
年3000円
◇211 (64-1) 2009.8 A5 106p 1500円
織田信長の統治権の支配権
—室町幕府と織田政権 小林 正信
末森筋信州飯田街道を訪ねてみま
せんか 加藤 浩
図絵に見る尾張の街道風景(4) 櫻井 芳昭
明治初期の県と村点描(2) 中村 保夫
資料紹介 当山派修験愛行院文書
について(1) 石黒 智教
自治体史の秋葉信仰叙述について

—『稲武町史』民俗資料編(1999
年)を批評する 田村 貞雄
第39回研究会発表要旨 尾張門徒
の信仰と民俗—本山再建と講の
力 蒲池 勢至
平成21年度理事会報告 事務局

◆東海近代史研究 東海近代史研究会
〒482-0044愛知県岩倉市宮前町2-75
西形久司方 TEL0587-66-7569
◇30 2009.6 B5 124p
「自由の歌」—自由民権家小室重弘
の前半生 稲田 雅洋
秋葉山略縁起と近世国学者の付会
田村 貞雄
「草莽」—そのさまざまな肖像(1) 秦 達之
歴史の小径
本格推理小説からノンフィクシ
ョンへ 秦 達之
地方史研究会の衰退 田村 貞雄
テレジンへの道 西形 久司
ヴァンゼー会議プロトコル
東海高等学校社会研究部

◆文化誌 碧 碧の会
〒446-0013愛知県安城市東別所町戌新畑1-
53 河村方 TEL0566-76-0204
◇25 2009.6 B5 38p 500円(抄)
バリアフリーな暮らし(4) 小谷野錦子
川端雑記 ○九・初夏 米川 五郎
書き残した思い出たち 八重田和久
ふるさとの 久世 郁子
明治期の醤油醸造裏話 粕渕 宏昭
全国トンボ市民サミット 中城 積
チェンマイ食紀行 嶋野 卓
再び「わが飢え」について 河村 和男
読者からの手紙

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇542 (49-4) 2009.7 B5 8p 600円
群馬・川和の獅子舞 石川 博司
東海民俗発表要旨 奥三河におけ
る花祭りの現況と課題 山崎 一司
旧額田町に伝わるコト八日行事に
ついて 野本 欽也
須成祭について
—稚児衣装を中心に 大野 麻子

◆史 料 皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462
◇222 2009.8 B5 14p 200円
承和九年の広湍秋麻呂亮券をめぐ
って—伊藤寿和氏「大和国の条
里関連史料についての基礎的研
究—」にふれて 荆木 美行
遠州掛川・王子神社の大般若経を
めぐって—移動したのは大般若
経か、写経僧か 久田松和則
いにしえの伊勢(3)—絵葉書・古
写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

近 畿

◆湖国と文化 (財滋賀県文化振興事業団
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
TEL077-522-8369 年3160円
www.shiga-bunshin.or.jp
◇128 2009.7 B5 92p 630円
《特集 シニアが見つけた!湖国の文学Ⅱ》
湖南省の芭蕉句碑 池田浅右衛門
大津事件の犯人 津田三蔵さんに
聞く 稲垣 英雄
大津絵時事川柳 小谷 清
近江天保一揆 平成の判決 小山 康夫

郷里藤尾の再発見と再構築 真田 孝男
駄句&PHOTO 重永 暢一
「源氏物語」によせて 高橋 幹雄
これからもよろしく・しがけん 高宮 弘
竜王さんと私たち 武石 務
我が親父の遺作
「母なる大地」を偲ぶ 西村 紘夫
能「望月」なぜ守山なの! 西村美代子
近江の国と駿河の国
—姥が餅と安倍川餅 松本 孝子
野路の玉川散策 山内 利夫
かわ 山岸 邦男
湖国レディス・アイ(19)
新聞記事と母親業 松田規久子
滋賀のかくれ里(12) 金勝山をめ
ぐって(2) 善勝寺・阿弥陀寺・
金胎寺 いかいゆり子
やんちゃ坊主伝(7) 戦中戦後編
(7) 激化する戦局 高橋 勉
あの町この町(25) 長浜市 今関 信子
滋賀の伝説と民話「叡山の角大師」
渡邊守順／斉藤裕子
湖国藝術紀行 頂点を極めた娘と
父—安蘭けい 中井二三雄
編集長対談 湖に生きる(33) 株
式会社平和堂代表取締役社長
夏原平和さん 根津眞澄／馬場和実
ふるさと四季の味(24) すいか 小川 久子
続・ふるさと歴史散歩「旧秀隣寺
庭園」—高島市朽木岩瀬 早藤 貞二
近江人物伝(2) 雨森芳洲 木村 至宏
湖国と源氏物語(16)最終回
紫式部と近江 鈴木 ゆみ
ごきげんさん(29) 石丸正運さん
辻村 琴美
近江の海 おーい老いと呼んでみ
る(17) 世界一うまい魚 熊谷栄三郎
北から南から 今井信／西川清子／袖森茂／

奥田典子／江竜喜信／岸野洋
再発見！滋賀の文学(7) 教科書
に見る滋賀ゆかりの文学(7) 井上 次雄
一寸一服 美声の名喜劇俳優
志賀廻家淡海の原風景 今井 信
大谷昭宏のハートツーハート(22)
試される湖国 大谷昭宏／田村元
水源の森を訪ねて(27)
石田川支流八王子谷 檀上 俊雄
伝承に見る淡海(26) 老女が斧を
磨いた峠は中山道一の絶景の地
黄地百合子

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100
www.city.hikone.shiga.jp/museum/
◇85 2009.6 A4 4p
井伊直弼と開国150年祭／テーマ
展「湖東焼絵付師 自然齋」/
シリーズ「直弼発見！」巻の7
井伊直弼を支えた人々／シリ
ーズ「直弼発見！」巻の8 井
伊直弼の書と古典研究／テーマ
展「井伊家伝来の馬具」
金亀玉鶴 直弼茶会と時間 小井川 理
直弼のころ—井伊直弼ゆかりの
作品(5) 井伊直弼書状 安東
七郎右衛門宛て／小学生用解説
書「直政・直孝物語—彦根を築
いた井伊のお殿様」完成／小学
生対象教室のお知らせ

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円
◇549 2009.6 B5 12p 420円
空襲による死(仮死)で人生観が変

わった 菅沼晃次郎
近江伊吹山系の伝承(12)
—農民一揆と小字名の地名 馬場杉右衛門
法螺貝について
—彦根城博物館史料 粕渕 宏昭
幻の大型港湾城郭 南津田城の復
元的考察(後) 長谷川博美
私のビルマ戦線敗走記(1) 馬場杉右衛門
キスカ島の残置犬の運命 馬場杉右衛門
俗謡「これでは勲章九連隊」
—悲運の京都師団 馬場杉右衛門
「甲州三尺」(ぶどう)について 粕渕 宏昭
信濃柿(シナノカキ)について 粕渕 宏昭
水筒について 粕渕 宏昭
「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に—回想記(4) 奥山 芳夫
◇550 2009.7 B5 12p 420円
科学技術の進歩・普及と過去の歴
史観について 菅沼晃次郎
建部伝内賢文と建部伝内昌興の最
高筆蹟揃組の意義(前) 中村 武三
奥琵琶湖周辺の伝承(1)—竹生島・
仙童の琵琶と龍神の祟り 馬場杉右衛門
真綿製造の道具について
—旧坂田郡近江町 粕渕 宏昭
小万田城「仮称」発見
—犬上郡多賀町 馬場杉右衛門
私のビルマ戦線敗走記(2) 馬場杉右衛門
「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に—回想記(5) 奥山 芳夫
◇551 2009.8 B5 12p 420円
日本人の「歴史観」について思う
こと 野村 素一
建部伝内賢文と建部伝内昌興の最
高筆蹟揃組の意義(後) 中村 武三
奥琵琶湖周辺の伝承(2)—片桐且
元・片桐藏と娘令子 馬場杉右衛門
彦根城天守の墨書記号と佐和山城

址出土の焼印の共通性について
長谷川博美
学徒出陣と本土初空襲(名古屋)
馬場杉右衛門
私のビルマ戦線敗走記(3) 馬場杉右衛門
「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に—回想記(6) 奥山 芳夫
甲津原で聞いたこと
—旧坂田郡伊吹町 粕渕 宏昭
明治本『歴史地理近江唱歌』につ
いて 粕渕 宏昭

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿

〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34
TEL0774-33-1199
◇128 2009.7 B5 308p (抄)
口絵 黄檗の文華—平成20年度文
華殿春・秋季特別展より
平成20年秋季特別展記念講演「明
僧渡来と本朝臨済禅の覚醒」 能仁 晃道
中国時代における隠元禅師の環境
林 観潮
黄檗僧独湛の自画像と肖像画 錦織 亮介
国内外の著作にみる河口慧海(1) 高山 龍三
河口慧海ゆかりの東京—羅漢寺・
海福寺・哲学館・旧宅 高山 龍三
悟心元明—人と印学 鈴木 東洋
文豪川端康成と或る黄檗廃寺 石渡 吉彦
大石内蔵助良雄次男の偏参をめぐ
って 瀬戸内 皓
三河龍溪院と華藏寺一切経をめぐ
って—経典の取捨改刻と既成仏
教との関係 高井 恭子
研究資料 『江戸黄檗禅利記』校
刊と解題(5) 江戸黄檗研究会
魯庵如道と小谷田勝五郎・池田冠
山の関係についての一考察 西村 勉
隠元禅師語録について(1) 大槻 幹郎

黄檗山萬福寺所蔵『黄檗開山塔院
什物数』の翻刻と解題 藤元 裕二

◆京都市政史編さん通信

京都市市政史編さん委員会
〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
松蔭町138-1 京都市歴史資料館内
TEL075-241-4312 city.kYoto.jp/somu/rekishi/
◇35 2009.7 A4 8p
史料紹介 碓井小三郎履歴書 井上 幸治

◆京都民俗 京都民俗学談話会

〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96
仏教大学文学部 八木透研究室気付
TEL075-491-2141 年4000円
◇26 2009.3 A5 196p
頭役祭祀の集権的構成
—近江湖南の集落神社の一例 渡部 圭一
夫婦頭人の引継ぎ 黒田 一充
執行規制からみた近世京都の六斎
念仏 本多 健一
近世京都における朝廷よりの祭具
拝領 村山弘太郎
大本教における「西王母」の意味
永原 順子
「親類主義」の打破—きだみのる
の市議選出馬とその意義をめぐ
って 室井 康成
グローバル都市ロスアンゼルス、
生き残りを賭けて越境するグア
テマラとエルサルバドルの人々
桜井三枝子
富士参りの歌と伊勢参宮街道
—志摩市鵜方の富士参りの歌 荻野 裕子
狸々と天然痘
—『三八疱瘡除け』を中心に 寺岡 茂樹
書評 植木行宣監修 鹿谷勲・長
谷川嘉和・樋口昭編『民俗文化

財 保護行政の現場から』 橋本 章

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
中村修方 FAX075-392-3743 年4000円
www.geocities.jp/kodaishinoumi2005/
◇56 2009.6 A5 108p 1500円
巻頭言
論文タイトルの引用について 中村 修
乙訓(弟国)と茨田氏 中村 修
上代特殊仮名の根本的解明(11) 坂田 隆
会員ひろば アンデス通信(9) 市木 尚利
肥前の石棚を持つ古墳 重村 英雄
継体・欽明大王の時代(下) 山口 順久
広瀬和雄『前方後円墳国家』(1～
3章)を読んで 河野 宏文
『日本書紀』原史料と編纂方法の
復元(3) 金森 信和

◆史迹と美術 史迹美術同致会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円
◇796 (79-6) 2009.6 A5 34p 915円
仁徳紀小考(下) 田寺 英治
小海線沿線の梵鐘二口 佐藤 郁太
黄檗信仰史(75) 江口 正尊
鬼瓦百選(75) 小林 章男
第935回例会 大徳寺の塔頭の建
築と庭園 品角阿止美／丸山貞
◇797 (79-7) 2009.8 A5 32p 915円
洛陽橋宝篋印塔放 村上 泰昭
鬼瓦百選(76) 小林 章男
浮島十三重石塔と石川五右衛門 加藤 繁生
第936回例会 陽明文庫と虎山荘
そして龍安寺 藪田夏雄／中西亨

◆茶の湯研究 和比 表千家不審菴文庫
〒603-8054京都市北区上賀茂桜井町55
TEL075-701-2001
◇6 2009.5 B5 106p 2000円
宗旦の宗拙勘当をめぐる茶の
湯の逸話・伝承と宗旦の手紙か
ら 生形 貴重
唐津・天草藩主寺沢広高・堅高
江岑宗左の初仕官とその周辺 寺沢 光世
戦国末期の上京と樂焼 貫名 義隆
史料 茶之道聞書 千 宗員

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒617-0002京都府向日市寺戸町二枚田12-
46 網本逸雄方 TEL075-933-5667 年3000
円 www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇29 2009.7 A4 6p
第8回京都地名シンポジウム報告
山背の古道から地名を探る(片
平博文)／京都の自然地名・災
害地名パートⅡ(池田碩)
第25回京都地名フォーラム案内
著作紹介 『誤解された万葉語』
吉田金彦／『宇治川歴史散歩』
齋藤幸雄／『日本語の起源とア
イス語』永田良茂

◆ノートル・クリティーク 歴史と批評
ノートル・クリティーク編集委員会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部 小林啓治研究室
◇2 2009.5 A5 73p 1000円
芸術革命としてのアナーキズム
—高見順と前衛文学 小林 敦子
近代日本の花道思想における「宗
教」と「芸術」—西川一草亭と
山根翠堂 井上 治
ティトゥス・リヴィウス、ストア

的歴史家の自由概念 田中 希生

◆洛北史学 洛北史学会
〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学文学部歴史学科内
TEL075-703-5256
◇11 2009.6 B5 113p
中世の茶屋について 橋本 素子
江戸幕府成立期における武家服飾
上の画期—垂直に注目して 寺嶋 一根
記憶のコンタクト・ゾーン—沖縄
戦の「慰霊空間の中心」整備を
めぐる地域の動向 上杉 和央
書 評
小林啓治著『戦争の日本史21
総力戦とデモクラシー—第一
次世界大戦・シベリア干涉戦
争』 原 佑介
権赫秀編『近代中韓関係史料選
編』 岡本 隆司
香川せつ子・河村貞枝編『女性
と高等教育 機会拡張と社会
的相克』 川分 圭子
新刊紹介
水本邦彦著『日本の歴史十 徳
川の国家デザイン』 吉田 洋子
遠藤基郎著『中世王権と王朝儀
礼』 泰地 翔大
磯前純一＋ハリー・D.ハルトウ
ーニアン編『マルクス主義と
いう経験 1930-40年代日本
の歴史学』 長谷川 一
大会・例会報告要旨

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
◇258 2009.6 B5 12p

犬鳴山の伝承(2) 志津物語 樋野 修司
「根来政権」と民衆(4) 井田 寿邦
合祀神社(1) 上田 繁之
◇259 2009.7 B5 14p
井原莊の菊勝介所用の甲冑 廣田 浩治
「根来政権」と民衆(5) 井田 寿邦
08年度を振り返る 事務局
◇260 2009.8 B5 10p
犬鳴山の伝承(3)
葛葉清水(葛井)伝承 樋野 修司
「根来政権」と民衆(6) 井田 寿邦
合祀神社(2) 上田 繁之

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2
大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333
1980年創刊
◇73 2009.7 A5 124p 700円
工業地域としての福島・此花区地
域の形成 小田 康徳
鉄軌道の大阪市内横断問題—市内
交通機関市営主義との関係をめ
ぐって 三木 理史
近世初期大坂川口絵図に見える新
田—青山家所蔵絵図資料より 松本 望
大坂船手の職務と組織 吉田 洋子
大阪城天守閣復興前史—陸軍史料
に見る大阪城の観光地化と浪速
神宮造営問題 能川 泰治
みおつくし 大坂代官 松本 望
新刊図書紹介 『大阪の部落史』
第十巻本文編、『住吉大社事典』、
『近代大阪の地域と社会変動』、
『大阪の教科書—大阪検定公式
テキスト』

◆大阪歴史懇談会会報
〒596-8691大阪府岸和田郵便局私書箱18号

FAX0724-38-4487 年5000円
www.homepage2.nifty.com/rekikon/
 ◇298 (26-6) 2009.6 B5 12p
 歴史の物差し＝暦の話
 閏月はなぜ必要か 上田 雄
 5月例会報告(第273回)「日本の司法を変える法廷―裁判員裁判の登場」大川哲次氏、「日本の歴史における温泉文化について」大川哲次氏／古文書講座(第117回)「抜参り佗書一札」石川道子氏
 4月見学会報告 満開の桜／高松塚再現壁画、大坂図屏風の復元をじっくり 小林 司
 見学会こぼれ話(7) 源氏物語千年紀によせて「式部のころ顔を出す 官房長官 安倍晴明」 稲垣 隆造
 ◇299 (26-7) 2009.7 B5 12p
 巻頭言
 広域行政の促進に思う(上) 松坂 定徳
 6月例会報告(第274回)「いい湯だなあ―歴史を彩った旅人たち」松田十泊氏／古代史講座(第159回)「吉備連合王国か 大和連合王権の一員か」松本正彦氏
 白須一信／榎野敏男
 5月見学会報告
 長岡京と周辺の歴史を訪ねて 吉川 三郎
 予科練「海軍甲種飛行予科練習生」の体験者に聴く 松坂 定徳
 見学会こぼれ話(8) 源氏物語千年紀によせて「紫式部は成仏できたか 死後の論争」 稲垣 隆造
 ◇300 (26-8) 2009.8 B5 12p
 巻頭言
 広域行政の促進に思う(中) 松坂 定徳
 7月例会報告(第275回)「日野富士

に泣いた公方と公家」文正広仁の乱～河内の国・正覚寺の陣
 藤原充弘氏／古文書講座(第118回)「遅延の断り書き」石川道子氏
 6月見学会報告 古代土師氏の里ウォーク 渡来王家、道真一族を偲ぶ 白須 一信
 涼風史談
 今福合戦の資料を求めて(上) 田村 紘一
 予科練「海軍甲種飛行予科練習生」の体験者に聴く 松坂 定徳
 見学会こぼれ話(9) 源氏物語千年紀によせて「源氏物語は生活と文学界を映す鏡」 稲垣 隆造

◆かいづか文化財だより テンブス

貝塚市教育委員会
 〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1
 TEL072-433-7126

◇38 2009.7 A4 8p

願泉寺表門と鐘楼の保存修理事業
 願泉寺表門の修復年代について―
 願泉寺の古文書から

第87回かいづか歴史文化セミナー
 報告「重要文化財願泉寺 現地見学会」を開催しました／平成21年度貝塚市郷土資料展示室企画展のお知らせ ぽっかんさんの平成大修理Ⅲ

古絵図をひも解く 神前(こうぎ)神社と戎(えびす)池／古文書講座 江戸時代の新田開発
 貝塚市の風景―南貝塚駅周辺

◆家系研究協議会会報

〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
 島野穰方 TEL072-634-5909 年5000円

www.geocities.jp/kakenkyou/

◇29 2009.7 B5 8p

北海道開拓と伊達侍 窪田 剛
 淡路垣内遺跡発掘に際しての想い 善本 正

家研協たより／図書紹介／図書出

版案内／受贈図書・資料
 珍名さんいらっしゃい(26) 眞野 幹也

◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
 TEL072-251-2586 年2400円

◇308 2009.6 A5 10p

身分制度の確立と河童の誕生 和田 寛

◇309 2009.7 A5 10p

河原者と河童 和田 寛

「河童文庫」増加図書目録(二冊目及び他の書群からの移籍を含む)

◇310 2009.8 A5 10p

飢饉と河童 和田 寛

「河童文庫」増加図書目録(二冊目及び他の書群からの移籍を含む)

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0021大阪市天王寺区東高津町11-9
 日本生命上本町ビル5階

TEL06-4304-7433 年2200円

◇715 2009.6 A4 8p 300円

生駒の神と仏 菅谷 文則

壬申乱を走る―吉野から隠へ 猪熊 兼勝

◇716 2009.7 A4 8p 300円

瀬ホテル―近代和風の名建築 川島 智生

上方喜劇の創始者 曾我廼家五郎

古川 綾子

◇717 2009.8 A4 8p 300円

吉野川流域の社寺を訪ねる 泉森 皎

“都市平野”の信仰世界
 ―16～17世紀を中心に 大澤 研一

◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2-10-18
 生駒道弘方 TEL072-277-6331 年3000円

◇130 2009.5 B5 10p

目の青葉 生駒 道弘

〈南清彦先生の急逝を悼む〉

南清彦先生の思い出 熊ノ郷安生

追悼 南清彦先生 生駒 道弘

南清彦先生の急逝を悼む 秋原 俊彦

南清彦先生の置土産 山崎 琢磨

南清彦さんへの手紙 植田 敏義

南清彦先生を偲んで 濱田美代子

南清彦先生の思い出 佐原 浩二

「泉州南学」を実践した南清彦先生 森村 健一

南清彦先生と私 川村 淳二

例会報告と一口メモ

12月例会報告

大阪の明治遺跡と渡し散策 川村 淳二

1月例会報告 阪神淡路大震災

の跡地と灘酒造巡り

山口邦雄／佐原浩二

2月例会報告 當麻の里めぐり 植田 敏義

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
 山口久幸方 TEL06-6857-4959

homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

◇259 2009.8 B5 14p

五世紀における磐余と忍坂 千田 稔

桜井市北部の古墳を尋ねる 山口 久幸

若狭・丹後・但馬の古代史を探る

旅 古高 邦子

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
 関西大学文学部 西本昌弘気付
 www.soc.nii.ac.jp/historia/
 ◇215 2009.6 A5 153p 1500円
 桓武朝における天智系皇統意識の
 成立 二星 祐哉
 佐賀・筑後平野の諸荘園と荘鎮守
 社 貴田 潔
 近世後期における「寺院社会」と
 領主権力—播磨国加東郡浄土寺
 来迎会を事例として 松本 和明
 立憲民政党の解党
 —立憲政治構想の視点から 井上 敬介
 報告
 佐紀陵山古墳と伏見城への立ち
 入り 企画委員会／仁木宏
 大阪府の博物館についての提言
 書を提出 企画委員会
 2009年度大会報告要旨
 考古・部会報告 北井 利幸
 古代・部会報告 鈴木拓也／佐々喜章
 中世・部会報告 佐伯徳哉／太田光俊
 中世・個人報告 呉座勇一／久水俊和
 近世・部会報告 添田仁／松本和明
 近代・部会報告 三村昌司／伊崎文彦
 ◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会
 〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
 たつの市立室津海駅館内 TEL079-324-0595
 年3000円 www.maple.or.jp/~shimaya/
 ◇16 2009.6 B5 43p
 誌上インタビュー
 仏教と日本の社会 末木文美士
 《特集 仏教のはなし》
 “聖なる遊女”の伝説 阿部 泰郎
 日本の寺院建築 黒田 龍二
 圓教寺とゆかりの女性達 中島 千進

室津をささえた寺社 西脇 修
 水で繋がれた歴史の中で(2)
 万葉の旅人 岩井 忠彦
 町並み探訪(16) 高砂 八木 雅夫
 十冊の本を読む(6) 『霊をよぶ人
 たち』鳥兎沼宏之著 安井 道夫
 広告世相視
 博物館遊歩(16) 奈良国立博物館
 柏山 泰訓
 室津ミュージアムニュース
 ◆史料ネット NEWS LETTER
 歴史資料ネットワーク
 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
 神戸大学文学部地域連携センター気付
 TEL078-803-5565 年1000円
 www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/
 ◇58 2009.6 A4 12p
 巻頭言
 史料ネット新体制発足の射程 板垣 貴志
 2009年度 歴史資料ネットワーク
 総会の記録 森脇 崇文
 特集 シンポジウム「災害の記憶
 と伝承」 中野 賢治
 大学コンソーシアムひょうご・神
 戸フォーラム「水害から歴史資
 料・書籍・写真をまもる」フォ
 ーラム開催 河野 未央
 新刊紹介『水損史料を救う 風水
 害からの歴史資料保全』
 ブックレット『水損史料を救う
 風水害からの歴史資料保全』編
 集を終えて 松下 正和
 特別寄稿
 西宮冷蔵と古文書レスキュー 飯塚 修三
 ◆西宮文化協会会報
 〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17

西宮神社内 TEL0798-33-0321
 ◇495 2009.6 B5 8p
 講演会 説話・伝承から見る京都
 祇園祭
 えびすの社(10)
 汽車の堤と本町通りの間 平井 良朋
 伊勢参宮本街道を歩く(34) 吉井 貞俊
 新刊紹介 西宮の今昔
 ◇496 2009.7 B5 8p
 空襲被爆録(1) 井村 幸雄
 平成版東海道五拾三次 吉井 貞俊
 ◇497 2009.8 B5 8p
 空襲被爆録(2) 井村 幸雄
 句想拝借実験 寺西 英爾
 新刊紹介 甲子園ホテル物語
 伊勢参宮本街道を歩く(35)／平成
 版東海道五拾三次 吉井 貞俊
 ◆歴史と神戸 神戸史学会
 〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中
 印刷出版内 TEL078-871-0555 年3000円
 ◇274 (48-3) 2009.6 A5 49p 600円
 《特集 新視点 中世の神戸とその周辺》
 福原遷都の計画性の再検討—反平
 氏包囲網に対する清盛の対応 中島 豊
 源平研究の権威者三氏が尼崎で激
 突 田中 實
 戦国時代の芦屋庄・本庄・西宮の
 山をめぐる相論 天野 忠幸
 聞き書き ありし日のまちと暮ら
 し(30) 尼崎から消えた牛たち
 (2) 井上眞理子
 地名研究(95) 西宮の地名探索
 蔵人 氾濫原と地名 渋谷 武弘
 兵庫の戦後モダニズム建築(7)
 神戸ポートタワー 笠原 一人
 ◇275 (48-4) 2009.8 A5 56p 600円
 《特集 草の根の地域遺産を守る》

神戸「北野界限」の形成因
 —水害現場からの一考察 中蔭 清吾
 草の根の地域遺産を守る
 —在野のアーキビストの実践 大国 正美
 地域資料館の意義と役割
 —山南歴史資料館を例に 松下 正和
 こうべまちづくりアーカイブズ
 ジェクトの取り組み—「まちづ
 くり資料」へのアプローチ 森本 米紀
 小野市立好古館の現状と課題 大村 敏通
 網千本町橋の物語り 田中 早春
 兵庫の戦後モダニズム建築(8)
 宝塚ゴルフ倶楽部クラブハウス
 笠原 一人
 地名研究(96) 二つの逆瀬川
 兵庫津と宝塚の地名探索 渋谷 武弘
 ◆あかい奈良 グループ丹
 〒630-8144奈良市東九条町6-4 TEL0742-62-
 3408 年2500円 www.akai-nara.net
 ◇44 2009.6 A4 46p 500円
 小さな奈良の物語(4) 野迫川村
 の「鶴姫哀歌」 あかい奈良編集局
 特集 奈良の百年、奈良の百歳
 奈良女子大学／奈良ホテル／奈
 良県立図書館情報館
 考古学を愉しむ 食からのぞく奈
 良の都(最終回) 薬用だった牛
 乳 菅谷 文則
 あかい奈良が行く古社寺巡礼
 奈良市西大寺
 今日見心親 正倉院宝物の復元模
 造(4)—もう一つの「本物」を
 創る
 明日香だより
 夏 気都倭既神社と茂古森
 心の風景 御船の滝—川上村・井
 光 井上博道／西村博美

あかい奈良インタビュー 株式会社
社呉竹相談役 綿谷正祥氏
大和彩食館 大和の野菜に魅せら
れて(最終回) 夏・大和西瓜 三浦 雅之
大和ものまんだら—酒
シモケシとザザンザ 鹿谷 勲
特集 山添村 イワクラ探訪
季の詞 滴る 矢野建彦／矢野桃苑

◆大美和 大神神社
〒633-8538奈良県桜井市三輪
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
◇117 2009.7 B5 76p (抄)
暑中ご挨拶 鈴木 寛治
続・三輪山にかかわる歌
—人麻呂歌集の歌をめぐって 青木 生子
考古学の新しい成果と邪馬台国論
争 福永 伸哉
三輪山セミナーイン東京講演録
来訪する神—三輪山神話をめぐ
って 三浦 佑之
三輪山セミナー講演録 前期大和
政権の構造—大和・柳本古墳群
をめぐって 広瀬 和雄
藤原仲麻呂と大神神社 木本 好信
第38回「神道国際友好会宗教事情
視察研修」アポリジニの聖地ウ
ルルと虹の蛇神話 平岡 昌彦

◆吉野路アラカルト 樋口昌徳
〒638-0001奈良県吉野郡下市町阿知賀3290
TEL0747-52-9098
◇1 2009.5 A5 23p
ごあいさつ 樋口 昌徳
自己紹介・父「杉雨」母「つや子」
のこと
登録有形文化財「藤岡家住宅」訪
問記 五條市近内町

栄山寺境内 玉骨句碑について
万葉歌碑
吉野郡吉野町宮滝の万葉歌碑
山菜の話
図書紹介 大峯山のふもと 修験
の里『洞川むかし話』
創作(1)
矢治沼の魚—吉野町下矢治
民謡「吉野紙すき歌」(吉野町国栖)
吉野山 金峯山寺蔵王堂 創建当
時(平安後期)の瓦 大量に出土
寄贈を受けた図書・資料の紹介
1月～4月
我が家所蔵の品々(1) 高浜虚子
の短冊、高浜年尾の短冊

◆Regional
奈良県立同和問題関係史料センター
〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
TEL0742-64-1488
◇11 2009.6 A5 48p
郡山城の「御殿」「五軒屋敷」に
ついて 藤本 仁文
「奈良県風俗誌」からみたムラの
制裁 津浦 和久
史料紹介 「靖軒中尾先生行状」 奥本 武裕
部落差別に関する覚書(1) 吉田栄治郎

◆紀南・地名と風土研究会会報
〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207
桑原康宏方 TEL0739-22-0483 年2000円
◇45 2009.7 B5 16p
『紀南の地名(二)』についての感想
の紹介 杉中浩一郎
熊野の權伝馬競漕 吉川 壽洋
那智勝浦町浜の宮の「振分石」と
その解説板 桑原 康宏
奥熊野・口熊野の地名

下里(那智勝浦町) 田中 弘倫
地名に残された未発見の城跡 田中 伸幸
第28回全国地名研究者大会を終え
て

◆熊野 紀南文化財研究会
〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657 年3000円
◇136 2009.5 A5 67p
海を越えた人形たち 池田 孝雄
近世田辺領における追放刑(流罪)
について—田辺組追放 芝 英一
滝尻の山の聖地・剣ノ山 杉中浩一郎
郷土関係新刊紹介・文化財ニュー
ス・会合メモ

中国・四国

◆北東アジア文化通信
鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
TEL0858-26-1811
◇33 2009.5 B5 6p
沖縄県読谷村における都市計画と
風水 浅井 秀子
韓国でのモバイル通信体験談—20
05年、2006年および2009年 野津 伸治

◆郷土石見 石見郷土研究懇話会
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567
◇81 2009.8 A5 141p 1200円
特報 石見銀山 天保飢饉時生活
史の一断面—史料『銀山騒動記』
の紹介 那須 寛正
石見神楽の中国山脈越え(5)
—石見そして安芸 竹内 幸夫
古代石見の邇摩の道と官衙 関 和彦
雪舟「四季花鳥図屏風」 宮本 巖

青春残照—相剋は今も変わらず 下垣 秀典
石見の民話(6)
—フィールド・ノートから 田中 肇一
今田「山神社」のサイカチの木 石津 確
井戸明府公「嘉恵碑」のこと—江
津市郷田小学校前のもう一つの
頌徳碑 横田彌太郎
森山義八郎翁頌徳碑—わが町の碑

中村 和平
惜別の歌 牛尾 光国
生湯の浜と十八砦 肥後 敏雄
四十年前の手紙 岩町 功
文芸 海辺の里 佐々木徳次

◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内
TEL086-222-2028 年2000円
◇31 2009.7 A4 10p
宇喜多氏研究のこれから 大西 泰正
岡山城築城四百年関連事業に係わ
って 天野 勝昭
宇喜多秀家招来の磁器窯か 矢吹 壽年
キリシタン大名 明石掃部頭全登
(上の2) 市川 俊介
物語直家記伝 乙子の城(3)
本貫の地 山重十五郎
今年度主催事業のお知らせ 事務局

◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505
◇114 2009.6 A5 18p
随 想
真理がわれらを自由にする 倉地 克直
モノの時代からこころの時代へ
高山 憲三
白石島の集落構造 中嶋 節子
岡山の自然 水源の森

岡山県林政課森林保全班
 岡山の文化財 岡山城西手櫓 乗岡 実
 岡山の人物 内田百閑 万城 あき
 岡山の文学碑 平賀元義 角南 勝弘
 わが町・わが村の自慢
 倉敷物語館(倉敷市)
 岡山の匠 猪風来(陶芸家)
 地域文化創造に向けて 瀬戸内ど
 真ん中—笠岡諸島(笠岡市)
 美術館・博物館めぐり 浅口市立
 鴨方郷土資料館(浅口市)

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
 〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
 大学大学院文学研究科日本史学研究室内
 TEL082-424-6643 年3000円
 ◇266 2009.6 A5 56p
 《特集
 呉の近代と海軍—モノと文書から考える》
 特集にあたって
 講演 ミッドウェー海戦の再考 秦 郁彦
 水野広徳と海軍、そして軍縮 小池 聖一
 藤田家文書の発見と明治期広村の
 世相 上河内良平
 2008年度芸備地方史研究会大会記事
 研究報告要旨
 瀬戸内海地域における呉工廠・
 広11空廠の産業史的位置づけ
 今田 裕雄
 艦艇の国産化政策と呉鎮守府の
 設立 千田 武志
 芸予諸島と県境—明治9年、愛
 媛県から広島県への転轄をめ
 ぐって 柚山 俊夫
 動向 広島県の地方史研究／鈴峯
 オープンカレッジの記録
 芸備掲示板
 企画展「未知の世界をさぐる

宇宙と海洋の世界」呉市海事歴史科学館
 藤村耕市著『三次郷土史の研究』
 三次地方史研究会
 史跡をあるく アレイからすこじ
 ま(旧呉海軍工廠)

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
 TEL084-953-6215
 ◇148 2009.6 A4 14p
 大谷城と有地隆信 田口 義之
 「我が家の近代史」について 大本 静人
 旧山陽道を歩く
 —神辺から高屋まで 種本 実
 東海道五十三次ゆったり歩き紀行
 (2) 神奈川宿から藤沢宿へ 岡田宏一郎
 沼隈の語源 根岸 尚克
 鞆地蔵院の大般若経 小林 定市
 川柳 熊谷 操子
 淡墨桜と天皇家 高橋 光雄
 親と子の古墳めぐり参加者より
 古墳めぐりの感想 笹田 明良
 遍照寺山城便り 藤波平次郎
 歴史民俗研究部会 活動報告 種本 実

◆広島郷土史研究会会報
 〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
 呉市広公民館内 TEL0823-71-0706
 ◇92 2009.7 A4 20p
 広村今昔 大正時代の西亀内科医
 院と吉松北谷遠景 上河内良平
 アレイからすこじま
 鳥小島の今昔 若林 秀和
 石泉文庫蔵書目録 大洲 誠史
 総会報告・古文書部会・例会報告
 吉田 顕治

◆広島民俗 広島民俗学会
 〒739-1521広島市安佐北区白木町三田2810
 栗原秀雄方 TEL082-829-0341
 ◇72 2009.8 A5 40p 500円
 「広島神楽」について 三村 泰臣
 蔵迫日の山踊りの音楽的考察 片桐 功
 岡本太郎と宮本常一が歩いた中国
 山地 正本眞理子
 広島民俗学会第73回研究会「春の
 県立博物館企画展と鞆の町並み
 散策」報告 錦川 鯉

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
 〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
 TEL0848-62-2935
 ◇219 2009.6 B5 12p
 今月の各地 三原の昔話をもっと
 掘り起こしては？ 大坪 和生
 沼隈半島周辺の史跡を訪ねて 大谷 和弘
 発見！ 田上祇園 福岡 幸司
 佐江崎鉦山史(1)
 —幸崎町の鉦山調査記録 行長 啓三
 ◇220 2009.7 B5 12p
 今月の各地 “三顧の礼”に想う 宮原 幸司
 H21年度総会並びに記念講演会報
 告 鈴木 健次
 三原市中之町北の「シシ垣」遺構
 雑感 福本俊彦／向巖
 提言 六十六歳を祝おう 福岡 幸司
 ◇221 2009.8 B5 16p
 今月の各地 学徒動員 大谷 和弘
 H21年度レキカン総会記念講演会
 三原をめぐる武将たち(1)—洪
 川氏・杉原氏を中心に 鈴木 健次
 佐江崎鉦山史(2)
 —幸崎町の鉦山調査記録 行長 啓三

◆徳島県立博物館研究報告
 〒770-8070徳島市八万町向寺山
 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇19 2009.3 B5 162p(抄)
 徳島県那賀郡那賀町古屋岩陰遺跡
 出土貝類の炭素14年代測定 遠部 慎
 徳島県海部郡海陽町浅川の磯魚伝
 統 田邊 悟
 近藤有地蔵書写 尾開・興崎・市
 場村誌／文化尾開村棟付帳
 松村宏道／名倉佳之／
 近藤南枝／長谷川賢二

◆徳島県立博物館ニュース
 〒770-8070徳島市八万町向寺山
 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇75 2009.6 A4 8p
 ツマベニチョウのなかま 山田 量崇
 Culture Club 二枚貝アワジチヒ
 ロとその化石 中尾 賢一
 特別陳列「蝶に魅せられて—愛好
 家たちのコレクション—」
 情報ボックス 祀られる武将の伝
 説から—ガイドブック『八万町
 の昔を探ろう』の活用法 磯本 宏紀
 Q & A
 ガーとはどんな魚ですか？ 佐藤 陽一
 速報 文化の森でメリケントキン
 ソウを発見！ 小川 誠

◆新居浜史談 新居浜郷土史談会
 〒792-0023愛媛県新居浜市繁本町8-65
 新居浜市生涯学習センター内
 TEL0897-33-2991
 ◇376 2009.7 A5 37p 500円
 観念寺と中世石造物 真木 孝

掌編小説(コント)
立川山村での南光院 芥川 三平
遍路二百八十度 中務茂兵衛が四
国に遣したもの 喜代吉榮徳
「御用留帳」摘抄録(8)—明治3・4
年 大生院村 高橋家文書 喜代吉榮徳

◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 TEL088-875-6671
◇152 2009.7 B5 56p
大河ドラマ「龍馬伝」を前に
龍馬と岩崎弥太郎(3) 岩崎 義郎
土佐に居た石川啄木の先祖? 広谷喜十郎
ある忠霊塔での一日 鍋島 静一
チエリ抄(5) 永国淳哉/藤本知子
空海と書道(3) 笹原 保博
浜千鳥の曲 毛利 俊男
民権ばあさん物語「馬とはちきん
さん」(2)はちきん喜多いとさ
ん 久米生太子/藤本知子
龍馬と慎蔵 松本 紀郎
蛙の放送 僕の土佐日記 澤田正二郎
自由民権記念館2009年度 秋の特
別展 土佐が誇る名優「澤田正
二郎」展
資料 北陸・京都方面の史跡めぐ
り(1) 広谷喜十郎
昭和の記憶(8) 中畑 中道
岡村庄造氏拓本集から(14) 岡村 庄造

九州・沖縄

◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円
◇178 2009.6 B5 20p
佐賀県重要文化財
木造阿弥陀如来坐像 志佐 惲彦

「やきもの」が語る日朝(韓)交流
史と唐津の歴史(1)—ユーラシ
ア大陸と打上の土器 中里 紀元
唐房の名づけ親は成尋法師? 堀川 義央
考古学における唐津地方研究の成
果(15) ものと生活(3) 貝杓
子 田島 龍太
慶安の唐津代官小川氏行 寺沢 光世
会議を開く庄屋たち(2) 宮崎 克則
侵略戦争を嫌った朝鮮出兵にみる
直江兼統(1) 熊本 典宏
稲葉半九郎・力行親子 丸田 利実
外津浦にあった震洋特別攻撃隊基
地 徳永 一吉
世界遺産石見銀山と画聖・書聖の
安住の郷へ 佐々木市太郎
世界遺産石見銀山と益田の人麻呂
・雪舟の史跡を訪ねて 坂本兵八郎

◆浜木綿 五島文化協会
〒853-0002長崎県五島市中央町3-26
カメラのササキ内 TEL0559-72-2409
◇87 2009.5 A5 176p (抄)
ことば遊び 早瀬 栄子
私の感動した短歌(13) 佐々木祥一
「63年振り」、感動の再会—高齢の
二人して、青少年時に回帰 山中 彦昭
五島歳時記 五島の旨いもの・食
べ歩き 武羅井 高
轟溪谷 小島 清
夢 路 田森テイ子
追 憶 遠山 富子
井原浩二さんという人 伴 靖子
汗さまざま 筑田 俊夫
父の手紙に見る激動の「昭和」(3) 内海 紀雄
五島のツバキを世界へ—王之浦椿
の現状・歴史・展望 比留木忠治

富江騒動始末記(2) 竹山 和昭
◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会
〒880-8520宮崎市船塚1-1-2 宮崎公立大学
大賀研究室気付 TEL0985-20-2000
◇23 2009.5 B5 39p
16世紀南九州の港津役人と島津氏
米澤 英昭
2008年度宮崎大学・宮崎公立大学
卒業論文要旨

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775 年4000円
◇135 2009.6 B5 74p
伊佐市平出水山田楽について 所崎 平
廃仏前夜 日本の情勢(下) 名越 護
曾於市財部町中谷奴踊と歌詞 所崎 平
語源晰二題 丸瓦羅橋、稲妻 牧 民郎
鹿の子百合物語(前) 小川 三郎
奄美のハブ話
—民俗文化研究の課題 本田 碩孝
みんぞく・かわらばん
コップ一杯の冷水 牧 民郎
「児玉實則日記」明治12年分(1) 所崎 平

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0007沖縄県宮古島市平良字東仲宗根
42 県立図書館宮古分館内
TEL09807-2-2317
◇173 2009.7 B5 8p
7月定例会レジュメ
近代宮古の医療について 仲宗根將二
8月定例会レジュメ 廣瀬御嶽の
祭神マッサビについて—与那覇
勢頭豊見親とのかかわりで考え
る 下地 利幸
王府末期の疑獄事件—朝祥と恵教

5月定例会の報告をふまえて 下地 和宏
伊波普猷著「琉球人種論」を読ん
で 6月定例会の発表要旨 仲宗根將二
宮古島市総合博物館企画展「よみ
がえる島のわざ—往にし方の宮
古上布—」展によせて 仲間 伸恵
市文化協会第4回定期総会開く—
市民文化祭、方言大会催される
下地 和宏
絵画サークル・二季会 第36回二
季展を開催/「沖縄旺玄会・宮
古移動展」の開催
「沖縄旺玄会・宮古移動展」の開催
砂川 幸夫
戦争は或る日突然始まらない…
「慰霊の日」中心に各学校で平
和学習 仲宗根將二
研究者11人の論文9本 『宮古島市
総合博物館紀要』13号発刊
文化行政に画期的な足跡
平良重信元平良市長逝く 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆奥羽曹洞の古刹 大梅拈華山円通正法寺
—沿革と写真
大梅拈華山円通正法寺監修 光陽美術 (〒
020-0066 岩手県盛岡市上田1-18-32 TEL019-
653-1640) 2009年6月 A5 60頁 1300円
貞享4年(1348)、無底良韶禪師の開山になる
古刹円通正法寺(奥州市水沢区黒石町)の歴史
や文化財を、豊富な写真とともに紹介する。
曹洞宗の伝来/二つの大本山の開創/正法寺
開山/正法寺の興隆/正法寺年表/拾遺 正
法寺七不思議
◆秋田藩大館諸兵戊辰戦記録
鷲谷豊著 (〒017-0803 秋田県大館市東台
6-5-83) 2009年8月 B5 234頁

秋田戊辰戦争北部戦線における秋田藩大館諸兵400余名の動勢を、秋田県公文書館所蔵「佐竹文書西家」の翻刻を中心としてまとめた「秋田戊辰戦争北部戦線でいかに戦ったか」。給士組頭報告／家中組頭報告／諸役報告／戦士報告／兵卒報告／金剛隊(寺社)報告ほか／戊辰戦争記録第二部各人別略記期／氏名索引表／参考 西家家中人名録

◆やまがた民俗文化伝承誌

菊地和博著 東北出版企画 (〒997-0824 山形県鶴岡市日枝鳥居上49-6 TEL0235-23-9122) 2009年4月 B6 285頁 1900円
山形県内50箇所の主な民俗文化を紹介した連載(『朝日新聞』山形版、2000年10月15日～2005年9月6日)をもとに、随想(『山形新聞』2002年1月6日～12月22日)なども加えながら地域社会のあり方を考える。伝承される山形の民俗文化―序にかえて／年中行事―地域の幸せをみんなで願う／庶民信仰―敬と畏れの心／民間習俗―習わしと暮らしの潤い／民俗芸能―人びとは歌い踊り祈る／伝承技術―手わざの巧みさと温もり／あとがき

◆相馬惣胤公奉納百首和歌

相馬郷土研究会資料叢書33
斎藤洗旦・松本ミヨ校訂 相馬郷土研究会(〒976-8601 福島県相馬市中村字大手先13 相馬市教育文化センター博物館内 TEL0244-37-2191) 2009年6月 B5 36頁
相馬中村藩8代藩主相馬惣胤と家臣10名とで詠出し、明和7年(1770)正月29日に奉納した相馬妙見歓喜寺所蔵『春日妙見社詠納奉納百首和歌』を収録する。本文編／解説 八代藩主相馬惣胤公と和歌所打它家と(大迫德行)

◆吉田屋源兵衛覚日記 第九冊の一

文久四年(元治元年)正月より
持館泰編 相馬郷土研究会(〒976-8601 福島県相馬市中村字大手先13 相馬市教育文化センター博物館内 TEL0244-37-2191) 2009年

6月 A5 163頁 1500円

幕末から明治初年にかけて相馬藩の商人、吉田屋源兵衛によって書かれた日記『吉田屋日記』の翻刻版。本書には、天狗党の乱や禁門の変など、維新の動きが激しさを増す文久4年(元治元年(1864))の世相を記した第9冊正月の記事を収録する。

◆江戸時代の小浮気村

―茨城県取手市桜井克巳家文書
藤代古文書解説会編・刊(〒300-1536 茨城県取手市光風台2-4-13 近江礼子方 TEL0297-83-4662) 2009年5月 B5 98頁
茨城県南部に位置する小浮気村(こぶけ、現取手市小浮気)桜井家に伝わる桜井克巳家文書1300点余の中から、江戸時代の小浮気村に関する文書を中心に126点収録する。解説編／村のようす(村況、村役人、年貢、土地、水帳一件、組分け)／村の支配(知行所、岡堰、助郷、鹿狩、旗本上野氏)／人々の暮らし(生活のきまり、凶作や災害、人の動き、奉公、商業、出来事や事件)／寺社と信仰(莊厳寺、舎那院、大日堂、八幡神社、信仰の講)

◆口承文芸学への夢 野村純一先生追悼集

野村純一先生追悼集刊行会
2008年6月 A5 431+31頁 3860円
2007年6月20日に逝去された口承文芸学の先駆者 野村純一氏の追悼文集。
〔著作解題〕『昔話伝承の研究』(大島廣志)／『日本の世間話』(小堀光夫)／『昔話の森―桃太郎から百物語まで―』(米屋陽一)／『新・桃太郎の誕生―日本の「桃ノ子太郎」たち―』(関根綾子)／『柳田国男未採択昔話聚稿』(花部英雄)／『江戸東京の噂話―「こんな晩」から「口裂け女」まで―』(常光徹)／『定本関澤幸右衛門昔話集―「イエ」を巡る日本の昔話記録―』(矢口裕康)
〔口承文芸学への道〕野村純一さん、安らかに(小澤俊夫)／野村純一さんを偲ぶ(松谷み

よ子)／野村純一氏を偲ぶ(吉沢和夫)／旅する文士―野村先生の印象(伊藤龍平)／口承文芸学門前小僧録、あるいは学史のための断章(飯倉義之)／ターヘルアナトミア・野村純一論―社会的機能論を中心として(金子毅)／主婦権と語りの場―野村先生の学問(長野ふさ子)／江戸近郊の新開地における掘割伝承―置いて堀」「隠亡堀」など(高塚さより)／「松之山話」についての一考察(品田笑子)
〔教育者として〕野村純一「口承文芸考」授業ノート(矢口裕康)／1988(昭和63)年度から1991(平成3)年度までの野村純一先生(根岸英之)／晩年の語録―講義ノートから(伊藤龍平)／野村純一先生へ(市橋美佐子)／縁(佐藤篤志)／野村先生の思い出(市橋祥行)／思いだすまま(倉田隆延)／野村純一先生から教えていただいたこと(瀬尾治)／ピリッとした空(田村大丈)／野村先生の思い出(鈴木悦子)／口承文芸を学ばせていただいて(嵯峨由起子)／野村純一先生の思い出(坂口幸恵)／学恩(田畑千秋・田畑博子)／にがうりの絵葉書(入江英弥)／野村先生からいただいたもの(青木美樹)／「学問」を教えてください(山本則之)／言葉を大切にされた野村先生(関根綾子)／野村先生に頂いたもの(西座理恵)／野村先生、ありがとうございました(佐伯和香子)／「生徒」として(内田みゆき)／忘れえぬ日(渡辺律子)／しのぶもぢずり(新田寿弘)／フィールドの詩性(ボエジー)(田中拓也)／Joyful Friday の贈り物(吉田裕美)
〔旅・探訪、世界へ〕追悼・遙かなる旅の友へ(姫田忠義)／はじめての中国訪問(飯倉照平)／律儀さ―野村純一氏追悼(大島建彦)／共同の比較研究に夢を馳せたひととき(金両基)／清冽な遠い昔の姿(野添憲治)／野村純一先生の視線(阿部敏夫)／久高島の始祖伝承と穀物儀礼(畠山篤)／類話研究と伝承研究(繁原史)／先生にいただいた中国の昔話研究(立石展

大)／野村先生の思い出(マンジュシュリー・チャウハーン)／野村先生とインドと私(田森雅一)／野村先生との思い出(西中道)／竹富島の思い出(斉藤香・田中紀子)／出会いに感謝(有馬英子)／野村純一先生を偲ぶ―若き日の想いで(浜野和子)／探訪の思い出(高藤晴俊)／思い出すままに(奥灘久美子)／遠野残照―野村純一先生とフィールドワークの思い出(菱川品子)／私の資料整理法(中田功一)／「宮城県気仙沼市及び本吉郡」探訪報告―民俗学研究会の昔話調査カードより(佐野正樹)
〔社会へのまなざし〕野村純一先生のことも(山賀七郎)／野村先生との御縁(大橋和華)／故野村純一先生を偲んで(麻原美子)／野村純一先生の大きなお心(荻原真子)／回想の野村純一先生(酒井正子)／野村先生の思い出(中村とも子)／点景(小池淳一)／野村先生とわたし(三浦佑之)／野村先生と関先生―『日本昔話大成』編集のころ(条智子)／先生と一冊の本(佐野克子)／つぶときつねのはしりっこ(石田淑子)／野村純一先生へ(大西猛夫)／野村純一先生との出会いに感謝(松川亭桃太郎)／野村先生と吉備路(内田一正)／野村先生と国際子ども図書館(富田美樹子)／最高のディレクターだった野村先生(服部比呂美)／三十年前の宿題(矢口貴子)／運命を変えた講義(大西登貴子)／野村先生、お会いできて良かったです！(佐藤凉子)／野村純一先生を偲んで(中平順子)／桜日和(清野知子)／「野村セミナー」「野村カレッジ」―藤野時代さんに聞く(加藤ゆりいか)／野村先生とのこと(渡部豊子)／野村先生との出会い―佐渡にて(杉浦邦子)／野村純一先生との思い出―遠野の語り部として(菊池玉)／渋谷の語りと野村先生(渋谷民話の会)／野村純一先生にお世話になって(栗屋育造)／韓国民話から日本の民話に(金基英)／出会いと古の文化に(柴田清義)
〔人生の軌跡〕野村純一さんに導かれて五十

年(福田晃)／六五期、同級生として(目有史)／岩倉高校時代の野村先生(岩倉高校山岳部OB会)／岩倉高等学校で(守屋琢智)／野村さんとの出会いと別れ(三橋健)／栃木へゆっくり話していくよ、と、おっしゃってくださいましたのに(中村幸弘)／出会いのころ(倉石忠彦)／先生、早すぎます(小川直之)／優しい声が…(林利久)／巨匠∞—野村純一先生とのこと(瀬戸口宣司)／“ひょうたん”の野村(野村博)／兄のこと(野村捷二)／純一さんの思い出(木本幸子)／野村家に伝わる先生の語り(コラム)／野村先生を偲んで—先生の佇まい(服部光徳)／言葉に尽くせぬ思いをこめて(久保華誉)／野村純一様を思う(丸山徳子)／訪問看護での出会い(杉浦美代子)／“ほととぎす”の啼く頃—思い出す野村純一先生のこと(内藤浩誉)／弔辞(矢口裕康)／あとがき—そして口承文芸学の旅へ(内藤浩誉)／年譜

◆世間話関連文献目録集成

〈口承〉研究へのとびら
山田巖子・飯倉義之編著 世間話研究会(〒285-0855 千葉県佐倉市井野1400-94 飯倉方)2009年8月 B5 553頁
世間話を軸として民俗学・文化人類学を中心に、文学・社会学・言語学などの隣接分野から広く〈口承〉研究に関する文献を集めた文献目録。1988年3月刊行の世間話研究会会誌準備号を基点として、2002年の12号に至るまでの山田巖子編「世間話関連文献目録」を集成・増補する。

◆地域史誌類目録2008

—非流通図書の集成と伝世
クオリ編・刊(〒176-0002 東京都練馬区桜台4-21-9-105 TEL03-3948-4407)2008年10月 B5 215頁 7000円
国立国会図書館の収集情報誌『日本全国書誌』から地方史誌と地方史に係る非流通図書を摘出し、基本的な書誌情報を県別市町村順

に配列して収録した、国立国会図書館への納本による他に類書のない地方史誌関係図書目録。1989年版(1990年刊)から毎年一冊の刊行で、『全国地方史誌関係図書目録』から改題したこの2008年版で20冊目となる。

◆中世の人々の手紙11

相川高德著(〒236-0046 横浜市金沢区釜利谷 西6-37-16 TEL045-783-8923)2009年7月 A5 126頁
称名寺所蔵・県立金沢文庫古保管の古文書・紙背文書の書状群を中心に、中世の人々の思いや時代相を紹介する第11集。「らうせん書状」「定仙書状」ほか、中世鎌倉人の生き生きとした姿が浮き彫りにされる35点の書状を収録する。

◆蒲原郡馬堀筒と首塚の物語

亀井功著(〒953-0041 新潟市西蒲区巻甲45-81-8 TEL0256-72-8318)2009年5月 A5 241頁 1700円
正保5年(1648)、蒲原郡中央部に築かれた馬堀筒をめぐる歴史を、その開削にあたった義人田辺小兵衛俊重の首塚伝説とともに紹介する。プロローグ／伝説と略伝—斬首説と自殺説の二つの伝説／萱刈川—中世の灌漑用水／仁右衛門堰—新たな灌漑用水取得／馬堀筒—画期的な灌漑用水取得へ／馬堀水除土手—新たな展開、囲土手普請／柳土手—新たな展開、耕地拡大と水防／宝暦の争い—飢饉と未曾有の水害／首塚伝説誕生—二種類の伝説の誕生／馬堀用水乙線—争いの終焉と馬堀用水の新展開／結語—馬堀筒はこうして掘られ、伝説は生まれた

◆第24回全国天領ゼミナール記録集

全国天領ゼミナール事務局編 佐渡市教育委員会文化振興室佐渡学センター(〒952-0021 新潟県佐渡市秋津1596 両津郷土博物館内 TEL0259-23-2100)2008年8月 B5 130頁
1985年に始まって今回で24回目を迎えた全国

天領ゼミナール(2008年8月2日・3日、於・佐渡市金井能楽堂)の記録集。北条氏と上杉氏の家臣団(池上裕子)／佐渡人形芝居の伝承活動について(高野藤右衛門)／戦国時代の佐渡について—久知殿と上杉氏(仲町次郎)／江戸時代初期の佐渡金銀山—最近の調査研究から(宇佐美亮)／海流に乗ってやってくるカニ達(伊藤正一)／天領ゼミナールのあゆみ

◆御用絵師 梅田九栄と俳諧

—芭蕉の教えを守った男
石川県立歴史博物館編・刊(〒920-0963 金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236)2009年4月 A4 28頁
金沢で絵師を実業とした梅田家歴代九栄に焦点をあてた石川県立歴史博物館の秋季特別展の図録である。六代梅田九栄と藩主肖像画制作工程／芭蕉翁の頭陀袋／八代九栄(年風)・九代九栄(江波)の俳諧資料／越中の雄、八椿舎康工の俳諧百一首／百人の競演—俳諧一百一首之図屏風(八代九栄筆)の世界と制作推敲／俳諧年表

◆肖像画にみる加賀藩の人々

石川県立歴史博物館編・刊(同上)2009年4月 A4 136頁
石川県立歴史博物館の春季特別展の図録。加賀藩祖前田利家の肖像画を中心に当主、妻たち、家臣団、さら学者や書家など幅広い分野の肖像画を紹介し、その歴史的を考える。武家と妻たちの肖像画(前田利家と父母・妻、前田利家の兄弟・子供 藩主関係、藩士と妻たち)／学者・書家・僧侶・十村・肝煎・町人・茶人・職人・絵師・俳人・芸能人の肖像画／肖像画粉本—御用絵師梅田家歴代の画業／加賀藩における肖像画の種々相(北春千代)

◆小説 金澤夜景

九条司著 金沢出版社(〒921-8011 石川県金沢市入江3-132-1 福村ビル 2F TEL076-291-4677)2009年7月 B6 185頁 1600円

浅野川／箸の先／金沢夜景／朝顔／心あり／鉄路の果て

◆岐阜県の祭りからⅥ

清水昭男著 一つ葉文庫(〒504-0829 岐阜県各務原市蘇原希望町1-10-6 TEL058-389-0780)2009年4月 B6 300頁 1500円
岐阜県内の消え行く儀礼・芸能を史料とともに紹介する祭礼記録の第6集。白山中居神社春の例大祭(郡上市)—宗教村落に伝わる巫女舞「五段の神楽」／山県市高木神社の大祭—白山神降臨譚に由来するハナビラモチで歓待／大垣市宝光院の節分会裸祭り—裸男と心男に託す厄除け開運祈願／飛騨一宮水無神社の宮祭り(高山市)—神体山の神霊を迎える神幸と歓待する集団芸／随想 大野郡白川村のどぶろく祭り—祭神はケの生活に活力を与える
◆富士山周辺の災害と対応—地域の古文書等を通して すその路5

竹谷靱負監修 天野安夫編 すその路郷土研究会(〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田1225-3 TEL0555-24-1666)2009年7月 A5 203頁 1000円

勝山(妙法寺)記における災害の記録／宝永の噴火の古文書と甲州の飛び地／古文書に見る雪代・地震・風水害の歴史と対応／忍野における関東大震災とその後の水害／郡内における戦後の災害の主な出来事

◆かや、榧、カヤ、—嫁菓子に関わる民俗
安城民俗談話会編・刊(〒446-0026 愛知県安城市安城町清水23-4 川合正治方 TEL0566-76-6638)2009年5月 B5 140頁 1000円

婚礼にまつわる風習のひとつで、安城地域では「カヤ」と呼ばれ、お嫁さんを見に来た人びとに配る嫁菓子についての聞き書きを中心とした調査成果を紹介する。カヤ・嫁菓子配りの調査／榧の木／榧の実／カヤブクロ(袋)／安城のカヤ・嫁菓子配り／三河のカヤ・嫁

菓子配り／名古屋のカヤ・嫁菓子配り／県外のカヤ・嫁菓子配り／解説

◆伊勢市史8 民俗編

伊勢市編・刊（〒516-0041 三重県伊勢市常磐3-10-44 伊勢市総務部総務課市史編さん係 TEL0596-21-5575）2009年8月 B5 805頁 5000円 申込み：千巻印刷産業（TEL0596-26-0101）

2007年刊行の第7巻文化財編に続く「伊勢市史」第2回配本。序章（民俗編の意義と編さんの方法、民俗編の構成と内容について、民俗編の調査について）／環境と民俗（自然と人びとの暮らし、食衣住と民俗）／社会と民俗（生産と組織、地域と組織、家族と親族、人生儀礼）／信仰と生活（民俗の表現、年中行事と祭り、無民間信仰の神仏と諸堂、伊勢の修験寺院）／社会変動と民俗（伊勢市の交通と交易、神宮と民俗、近代と宗教変動）／現代社会と民俗（伊勢の観光、迎える民俗／河崎のまちづくり）／写真・図表一覧／引用・参考文献／付録 C D：民俗編本編・資料（歌詞集）、D V D：映像資料 御頭神事・米山新田（カンコ踊り）

◆新 三重の城(三)—織田一族の人びと 城と陣屋シリーズ252

藤林明芳著 日本古城友の会（〒544-0005 大阪市生野区中川3-1-7 セントラルマンション2号館507号 尾原隆男方 TEL06-6753-1890）2009年6月 A5 28頁
信雄と田丸城／掃部助の謀殺／松ヶ島城と丸山城／信包と安濃津城／信孝と神戸城／土田御前の生涯／冬姫の画像／長島一向宗徒との戦い／信重と林城を探る／信雄の娘八重姫／織田一族の人びとと一覧表

◆保津川下りの今昔物語—綱道に残る船頭の記憶 平成20年度ふるさと文化再興事業 保津川の世界遺産をめざす会（〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8 亀岡市教育委員

会社会教育課文化財係内 TEL0771-25-5054）2009年6月 B5 64頁

亀岡盆地南東端から嵐山までの桂川中流部にあたる保津川について、江戸時代の船運にかかわる民俗技術の一つである曳船の再現と川下りの安全運行のために行われた川作技術を紹介する。保津川下りのいろは／船頭さんの今、昔／曳船再現に駆ける／船の曳き道、綱道の記録

◆八色の姓と古代氏族

岡森福彦著 岡森福彦遺稿集刊行委員会刊 2009年8月 A5 335頁

龍谷大学での講義中に倒れ、2008年8月20日に37歳で逝去した岡森倉彦氏の論文集。はじめに—岡森福彦君に代わっての序（平田厚志）／八色の姓成立とその性格（記紀系譜と八咫めの姓制定の関係—『日本書紀』大彦命後裔系譜の成立をめぐる、真人・朝臣の性格について、宿禰と伴造—八姓宿禰の賜姓氏族と天武朝官制、忌寸と国造—八色忌寸の賜姓について、八色の姓制定の歴史的意義、古代の清掃と掃守氏）／地域史と諸研究（興正寺からみた「承応の閨牆」、菊岡如幻伝とその諸問題、女帝論の系譜—女帝と易姓、書評 平林章仁著『神々と肉食の古代史』）／初出一覧／追悼文（岡森福彦さんを悼んで（内田順子）、岡森福彦君をお悼みして（上横手雅敬）、駄法螺を吹かなかった男（榎村寛之）、岡森さん追悼（大河内智之）、岡森福彦さんの死を悼む（岡崎晋明）、岡森福彦君をしのぶ（岡田精司）、岡森福彦君 福ちゃんへ（岡田良子）、研究室での思い出（岸田祥子）、我が畏友を悼む（小山元孝）、岡森さんの思い出（土橋誠）、後輩として、同僚として（日裏高博）、岡森福彦君を偲んで（平林章仁）、金にメッキをする必要はない（藤原享和）、福さんへ（前原圭介）、岡森福彦君を偲んで（松倉文比古）、岡森福彦君を偲んで（水谷千秋）、マグノリアの頃（宮原桂）、

本当の障害者とは（山村孝一）、岡森福彦さんの思い出（若井敏明））

◆摂州第一の名城 大坂(石山)本願寺城

—秀吉の縄張りから大坂本願寺を考える 竹内猛著 日本古城友の会（〒544-0005 大阪市生野区中川3-1-7 セントラルマンション2号館507号 尾原隆男方 TEL06-6753-1890）2009年8月 A5 53頁
絵図関係／大坂城と大坂本願寺／大坂と上町台地／吉崎から山科・大坂へ／大坂本願寺の地理的条件／石山戦争／寺城(内城)と寺内町(外堀)

◆桜井慶次郎日記 大阪市史料73

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会（〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333）2009年3月 A5 198頁 1800円
初代加賀屋(桜井)甚兵衛により延享2年(1745)から開発が進められた摂津国住吉郡加賀屋新田の桜井家に住み暮らした桜井慶次郎の日記（全16冊、林助三郎家所蔵5のうち、元治2年(1865)と慶応2年(1866)分を収録する。元治二乙丑年日誌／慶応二丙寅年日誌／解題（荒武賢一朗）

◆後記

信州諏訪で代々の農家を継ぎ、10年前に亡くなった叔父は、朝3時には起床し、週刊誌から哲学書まで読み漁る読書家であった。その叔父が40年以上も前、高校生の私に口癖のように言ったことは、「これからの社会対立の構図は、資本家対労働者ではなく、都市対地方になる」であった。小泉、鳩山と続くスマートな都市型政治家の出現と、それによる郵政民営化、ダム工事中止などの諸施策を見るにつけ、叔父の慧眼に驚かざるを得ない。先頃帰省した折に、郷土の山村で郵便局長を務められた方と話す機会があった。過疎地の郵便局は、謂わばそこで暮らす人びとの命の基地のようなものであり、村びとと局員は皆顔見知りで、一人暮らしの老人の生活の面倒まで見てきたようなところがあったが、今は郵政ビジネスで町場の本局と統合され、人間関係が希薄になったと言われた。ビジネスと言えば、農協も同じだ。鳩山政権は郵政民営化の見直しを掲げているが、経済効率や合理性で論じるのではなく、まずは、住民の生活の中の郵便局という位置づけの認識から始めて欲しいと願わずにはいられない。（飯澤）

◆南木芳太郎日記—大阪郷土研究の先覚者 大阪市史料74

大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(同上) 2009年3月 A5 179頁 1800円
昭和6年(1931)に雑誌『郷土研究 上方』(昭和19年4月まで151号)を創刊し、「上方郷土研究会」を発足させた南木芳太郎(1882～1945)の日記『南木芳太郎日記』(全15冊、大阪市史編纂所蔵)より昭和5年分を翻刻する。南木芳太郎日記 昭和五年／解題 南木芳太郎氏の前半生(肥田皓三)

◆南方熊楠・小畔四郎往復書簡(二) [大正7年～大正10年] 南方熊楠資料叢書 南方熊楠顕彰会編 南方熊楠顕彰館（〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36 TEL0739-26-9909）2009年4月 A5 114頁
南方熊楠と変形菌(真性粘菌)研究における協力者 小畔四郎との間でかわされた南方熊楠記念館所蔵の往復書簡のうち、大正7年(1918)から大正10年(1921)までの73通を翻刻収録する。南方熊楠・小畔四郎往復書簡 大正七年・八年・九年・十年／書簡一覧・詳細目次／解題(田村義也)

地方史情報 096 2010年(平成22年)4月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

